

平成23年度
尾張旭市営バス利用状況報告書



平成24年8月
都市整備部都市計画課

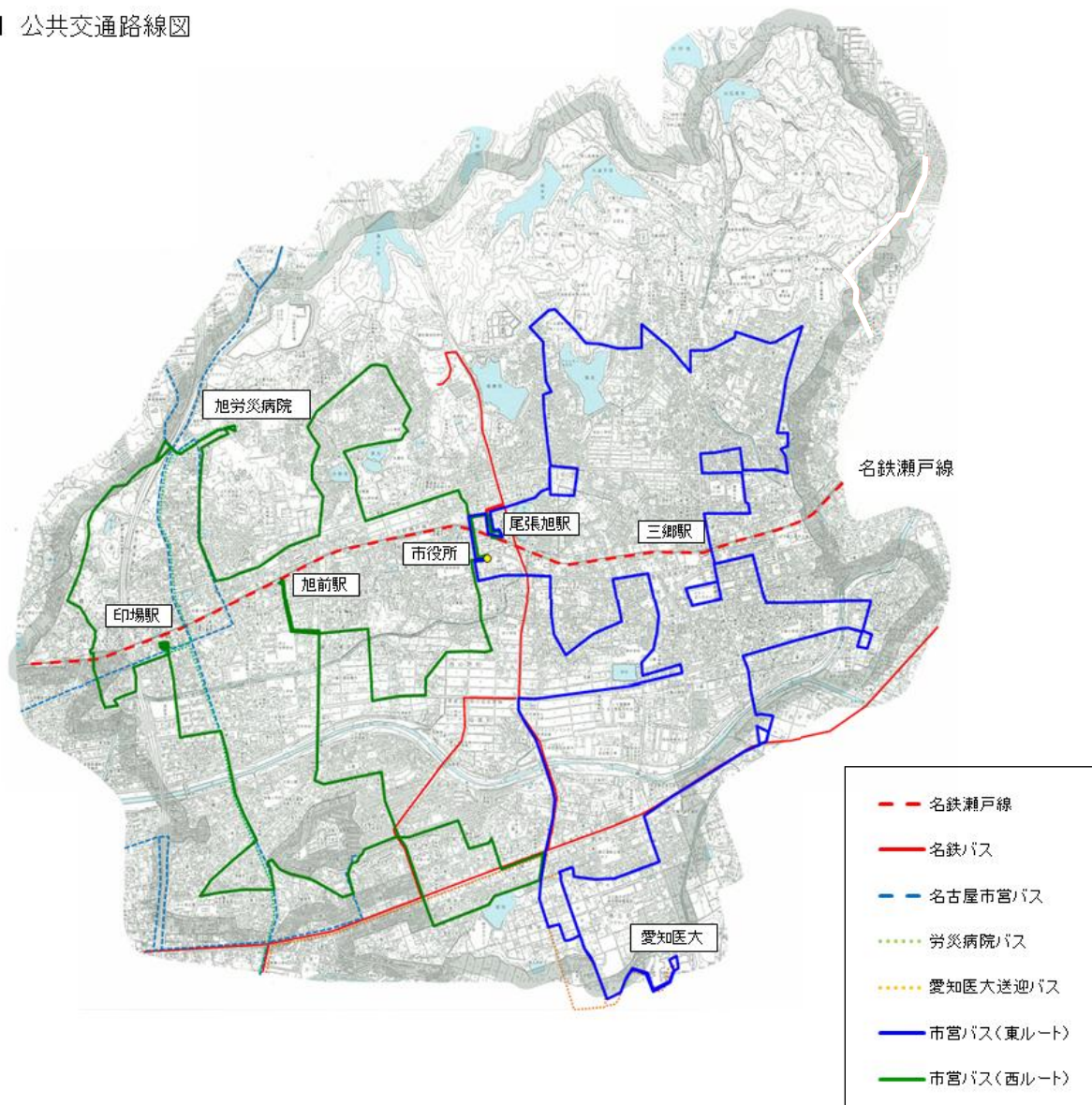
目 次

1	市営バスの概要	1
2	市営バス運行の経緯	2
(1)	試験運行開始前	2
(2)	試験運行の実施	2
(3)	本格運行の実施	3
3	市営バスの利用状況	4
(1)	利用者の推移及び内訳	4
(2)	ルート別利用者数の状況	5
(3)	運行便別利用者数の状況（全体）	6
(4)	運行便別利用者数の状況（ルート別）	7
(5)	停留所別利用者数の状況	10
(6)	ルート別の停留所利用の状況	19
(7)	曜日別の利用者数の状況	23
4	市営バスの運行経費の状況	24
(1)	市営バスの運行経費の状況	24
(2)	近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況	25
5	市営バス運行に対する市民意識	27
(1)	平成23年度利用者アンケートの結果	30

1 市営バスの概要

- 本市の市営バスは、平成20年4月1日から、4ルート（西、南西、東及び南ルート）の「シャトル方式」で本格運行を開始しました。そして、同年10月1日から、西ルートと南西ルートを統合した「西ルート」、東ルートと南ルートを統合した「東ルート」の2ルートに再編し、それぞれ「右回り」及び「左回り」の「双方向ループ方式」による運行に変更しました。
- 本報告書は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの、1年間の東ルート（マイクロバス2台 定員26人）及び西ルート（マイクロバス2台 定員22人）の利用者数を集計したものです。
- 利用料金は、1回100円で、小学校未就学児並びに障がい者（児）本人及びその付添い人1人は無料としています。
- 運行日は、平日及び土曜日とし、日曜日、祝日（振替含む）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）は運休としています。また、運行時間は8時20分から17時30分までとし、1日7便を運行しています。
- 運行距離は、西ルートが23.1km、東ルートが24.2kmとしています。

■ 公共交通路線図



2 市営バス運行の経緯

(1) 試験運行開始前

ア 平成15年度以前

- ▽ 平成10年度
市議会定例会において、多数の会派から巡回バスについて質問
- ▽ 平成11年度
巡回バス実現に係る18,000人余りの署名が、「だれでも乗れる市内巡回バスの早期実現と高齢者・障害者への交通助成費を求める陳情書」として提出
- ▽ 平成12年度
交通問題対策特別委員会の設置

イ 平成15年度

- ▽ 本市における生活交通のあり方を検討するものとして、学識経験者や市民の代表、公募委員からなる「尾張旭市交通問題対策協議会」を開催
- ▽ 協議会では、地域交通に係る勉強会や他自治体の事例の視察、公共交通移動実態調査の検証等を実施
- ▽ 協議会からの主な提言
 - ・市内には、公共交通に恵まれた地域もあるが、一方では移動に制約を受ける交通空白地もある。このため、まずは公共交通のサービス水準が相対的に低い地域を対象として、市による新たな交通手段の確保を図ること
 - ・可能な限り早期に、市による新たな交通手段を具体化するため、まずは試験運行の実現のための検討組織の設置や必要な予算措置などを行うことと合わせ、真に市民の利活用があるかデータを収集すること
 - ・新たな交通手段によるサービスの維持などは、市民の利用の状況に大きく左右されることであり、それを利用し、守り育てていくことは市民の責任でもあることを訴えること

ウ 平成16年度

- ▽ 提言に基づき、試験運行の仕組みを構築する組織として、「尾張旭市交通問題懇話会」を開催
- ▽ 懇話会では、平成15年度に行った公共交通移動実態調査の結果に基づき、ルート設定や使用車両の検討を実施。また、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「市内の交通空白地」と定義し、その解消を目指すことを確認

(2) 試験運行の実施

ア 平成16年12月1日～平成17年7月31日

料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。なお、満車時においては箱型タクシーにて対応。

その結果、南ルートの利用状況が少なく、更なる利用増進が課題となった。

イ 平成17年8月1日～平成18年8月6日

主に南ルートを増強し、愛知医大及び本地ヶ原住宅に停留所を設置。その結果、乗り継ぎ利用者の増加と、これに伴う積み残し対応タクシーの増加が発生。さらに、運行頻度の充実に対する要望や、未運行地域からの要望も増加。

ウ 平成18年8月7日～平成20年3月31日

ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充（南西ルートを新たに増設）。

また、平成19年12月5日からは、西ルート、東ルートにマイクロバスを導入。これに合わせ、車両デザインを市民公募するとともに、愛称を「あさび一号」とした。なお、南ルート及び南西ルートについては、引き続き9人乗りワゴン車にて対応。

(3) 本格運行の実施

ア 平成20年4月1日～9月30日

指定管理者制度の導入により、本格運行を開始。併せてルートの見直しを実施するとともに、障がい者本人の運賃を無料化。

また、南ルート、南西ルートに指定管理者所有のマイクロバスを導入。

イ 平成20年10月1日～

西ルートと南西ルートを統合して「西ルート」、東ルートと南ルートを統合して「東ルート」とし、「シャトル方式」の運行を、2ルート4台の車両で運行する「双方向ループ方式」に変更。

また、平成20年11月27日からは、南ルートと南西ルートで使用していた指定管理者所有の車両を、市所有のマイクロバスに変更。その結果、4台全てが統一されたデザインの車両となった。

3 市営バスの利用状況

(1) 利用者の推移及び内訳

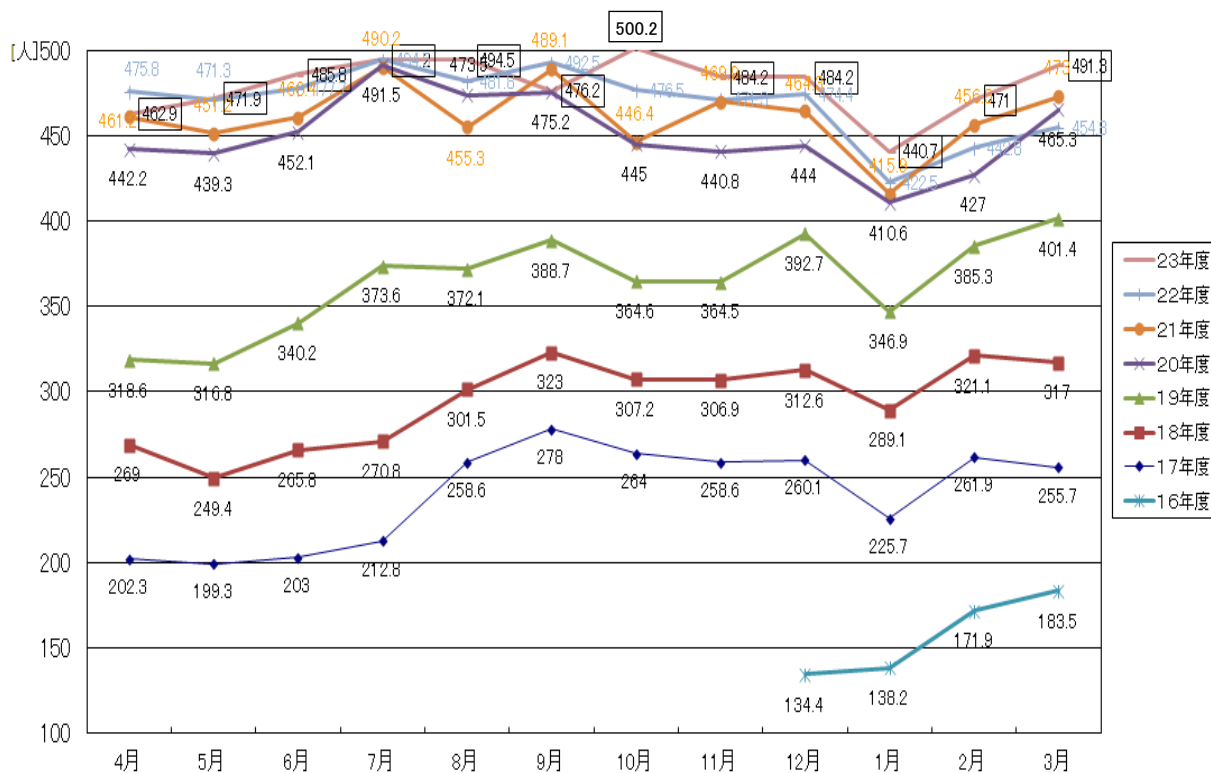
○ 年間利用者数の推移

単位：人

	年間利用者数	1日あたり 平均利用者数	有料利用者	無料利用者		
				未就学	障がい者	介助者
平成16年度	14,995	157.8	14,409	478	—	108
平成17年度	70,540	239.9	67,498	2,682	—	360
平成18年度	86,793	294.2	84,064	2,492	—	237
平成19年度	107,263	363.6	103,214	3,739	—	310
平成20年度	132,653	451.2	119,918	4,320	7,703	712
平成21年度	135,625	461.3	118,363	3,288	12,813	1,161
平成22年度	138,273	470.3	119,080	2,718	15,205	1,270
平成23年度	141,731	480.4	118,025	2,993	18,888	1,825

- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行

○ 1日あたり平均利用者数の推移



(2) ルート別利用者数の状況

全体を通し、冬季（1～2月）の間は、気温等を要因とする自然減と思われる利用者数の減少がありました。その他の月は利用者数に大きな変動はありませんが、夏季（6～8月）に増加しています。これは、夏の暑さに対して普段、目的地まで徒歩などにより移動していた方々が、バスを利用されたことが考えられます。

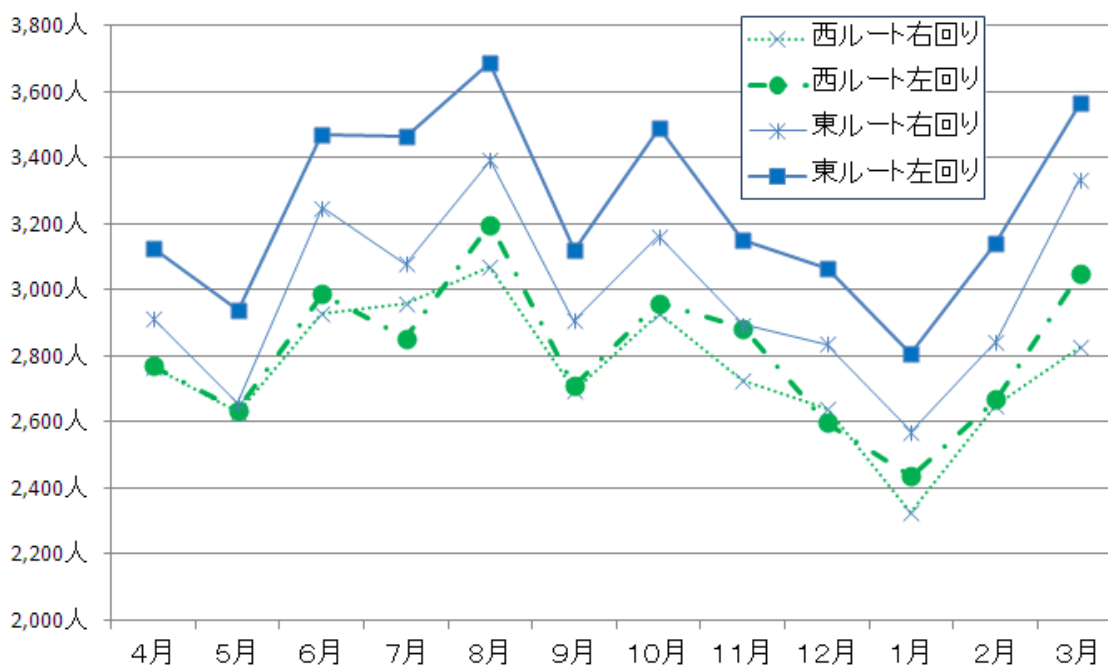
5月の減少はゴールデンウィーク期間など運休日が多かったことが考えられます。また、ルート別では例年と同じで、各月とも「東ルート」の利用者が「西ルート」の利用者を上回っていました。

○ 路線別利用者数

単位：人

	西ルート			東ルート			合計
	右回り	左回り	小計	右回り	左回り	小計	
4月（25日間）	2,763	2,769	5,532	2,914	3,127	6,041	11,573
5月（23日間）	2,627	2,634	5,261	2,654	2,938	5,592	10,853
6月（26日間）	2,928	2,986	5,914	3,247	3,470	6,717	12,631
7月（25日間）	2,959	2,853	5,812	3,078	3,464	6,542	12,354
8月（27日間）	3,071	3,198	6,269	3,393	3,690	7,083	13,352
9月（24日間）	2,695	2,708	5,403	2,907	3,118	6,025	11,428
10月（25日間）	2,925	2,959	5,884	3,162	3,490	6,652	12,536
11月（24日間）	2,727	2,884	5,611	2,894	3,150	6,044	11,655
12月（23日間）	2,638	2,598	5,236	2,836	3,065	5,901	11,137
1月（23日間）	2,325	2,435	4,760	2,568	2,807	5,375	10,135
2月（24日間）	2,650	2,669	5,319	2,843	3,141	5,984	11,303
3月（26日間）	2,826	3,047	5,873	3,333	3,568	6,901	12,774
合計	33,134	33,740	66,874	35,829	39,028	74,857	141,731

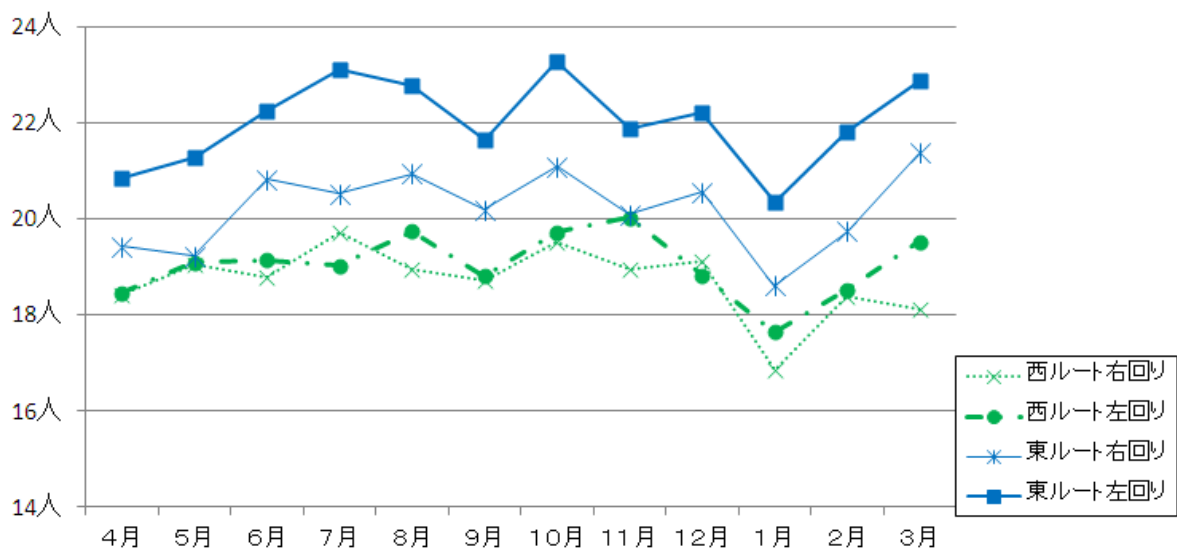
※（ ）内は運行日数



○ 1便当りの平均利用者数

単位：人

	西ルート		東ルート		全体	平成22年度(全体)
	右回り	左回り	右回り	左回り		
4月	18.4	18.5	19.4	20.8	19.3	19.8
5月	19.0	19.1	19.2	21.3	19.7	19.6
6月	18.8	19.1	20.8	22.2	20.2	19.9
7月	19.7	19.0	20.5	23.1	20.6	20.6
8月	19.0	19.7	20.9	22.8	20.6	20.1
9月	18.7	18.8	20.2	21.7	19.8	20.5
10月	19.5	19.7	21.1	23.3	20.9	19.9
11月	18.9	20.0	20.1	21.9	20.2	19.6
12月	19.1	18.8	20.6	22.2	20.2	19.8
1月	16.8	17.6	18.6	20.3	18.4	17.6
2月	18.4	18.5	19.7	21.8	19.6	18.5
3月	18.1	19.5	21.4	22.9	20.5	19.0



(3) 運行便別利用者数の状況(全体)

平成23年4月から平成24年3月までの間における西ルート及び東ルートの利用者数の運行便別の利用状況の割合は次のとおりとなりました。

各ルートとも第2～4便の利用者数が多くなっています。

なお、第1便及び第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行であるため、その利用者数は他の便に比較し、少ない状況にあります。

	西ルート		東ルート	
	右回り	左回り	右回り	左回り
第1便(8:30~9:07)	9.7%	8.5%	5.6%	8.0%
第2便(9:15~10:33)	23.5%	23.5%	22.8%	21.6%
第3便(10:45~12:03)	18.9%	18.1%	19.7%	20.9%
第4便(12:15~13:33)	17.1%	18.0%	20.1%	19.3%
第5便(13:45~15:03)	13.0%	12.4%	12.5%	15.7%
第6便(15:15~16:33)	12.3%	11.9%	11.6%	10.5%
第7便(16:45~17:30)	5.4%	7.7%	7.7%	4.1%

(4) 運行便別利用者数の状況（ルート別）

平成23年4月、7月、10月及び平成24年1月における西ルート及び東ルートの1日当りの利用者数を運行便別にそれぞれグラフで示しました。

なお、第1便及び第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行であるため、利用者数は他の便に比較し、少ない状況にあります。

ア 西ルート（右回り）

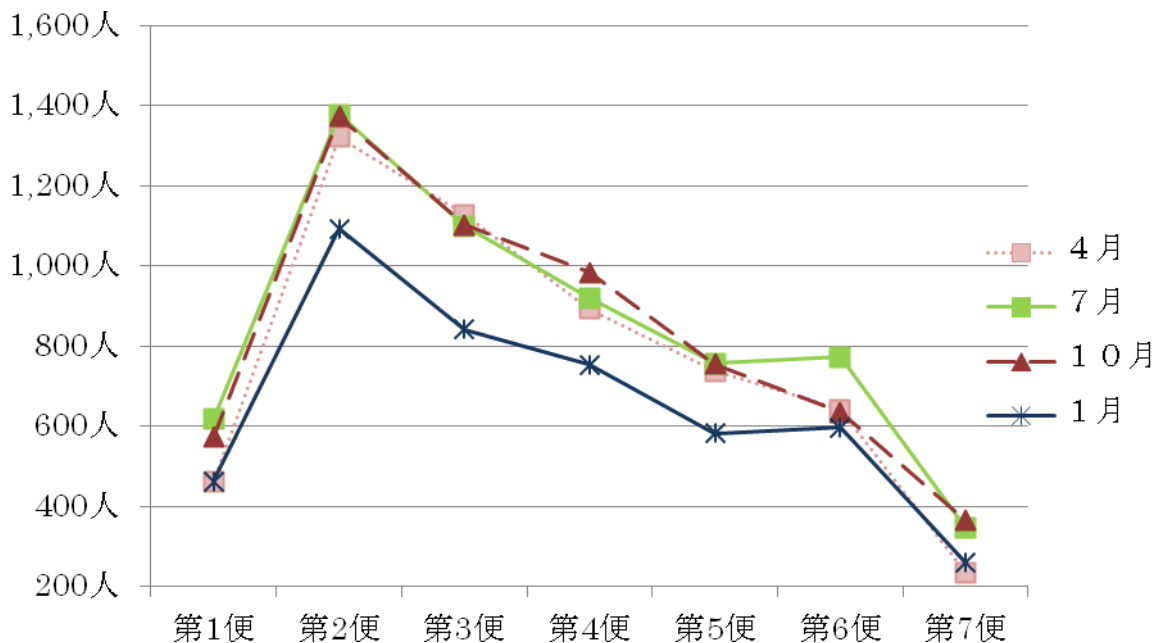
西ルート（右回り）では、各月とも第2便（9：15～10：33）の利用者数が最も多く、続いて第3便（10：45～12：03）の利用者数が多い傾向が見られます。

また、第5便（13：45～15：03）、第6便（15：15～16：33）と時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

なお、第1便と第7便については、運行区間が一部のみであるため、他便と比べ利用者数が少ない状況にあります。

なお、利用者の多くが病院への通院、買い物、市役所など公共施設への用事などにバスを利用していることから、第2～4便での利用者数が多くなっていることが考えられます。

○ 西ルート（右回り）運行便別利用者数



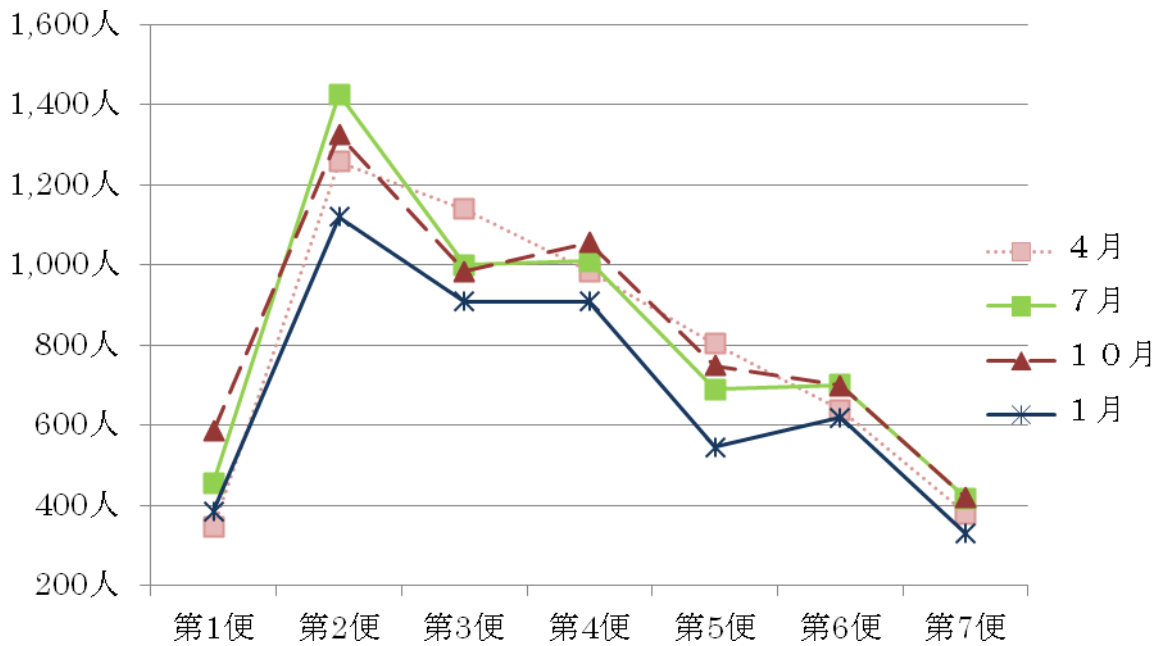
イ 西ルート（左回り）

西ルート（左回り）では、各月とも第2便（9：15～10：33）の利用者数が最も多く、続いて第3便（10：45～12：03）の利用者数が多い傾向が見られます。

また、「右回り」と同様に、第5便（13：45～15：03）、第6便（15：15～16：33）と時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

なお、全体的な利用者数は「右回り」を上回っており、利用者の居住地と目的地との距離関係などが影響していることが、その要因の一つと考えられます。

○ 西ルート（左回り）運行便別利用者数



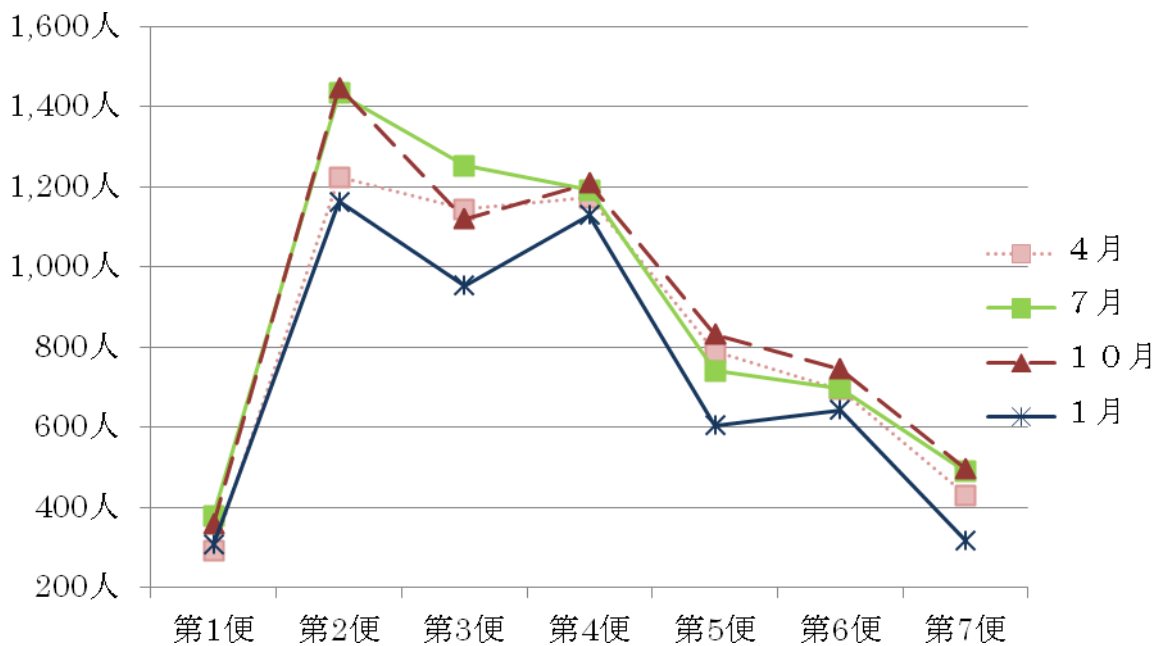
ウ 東ルート（右回り）

東ルート（右回り）では、「西ルート」と同様、各月とも第2便（9：15～10：33）の利用者数が最も多く、続いて第4便（12：15～13：33）の利用者数が多い傾向が見られます。

また、第5便（13：45～15：03）、第6便（15：15～16：33）と時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

なお、全体的な利用者数は「西ルート」を上回っています。

○ 東ルート（右回り）運行便別利用者数



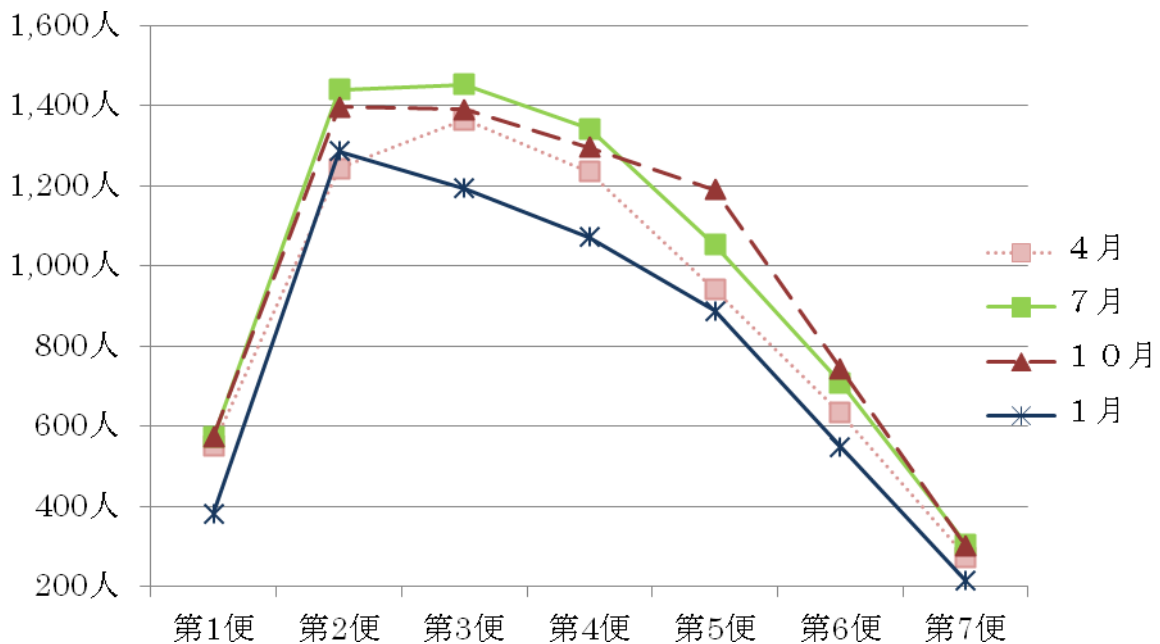
エ 東ルート（左回り）

東ルート（左回り）では、各月とも第2便（9：15～10：33）と第3便（10：45～12：03）が多くなっています。また、これに加え、第4便（12：15～13：33）、第5便（13：45～15：03）の利用者数が多くなっています。この第3～5便では「市役所」「愛知医大」での乗車に加え、「三郷南」での乗車が多く、当停留所にある大型商業施設の利用者が多数あることが、その要因の一つであると考えられます。

第1便と第7便の利用者が減少する傾向は、これまでと同様ですが、第7便（16：45～17：30）の利用者数は、他のルートを下回っています。

なお、全体的な利用者数は「右回り」を上回っており、利用者の居住地と目的地との距離関係などが影響していることが、その要因の一つであると考えられます。なお、このルートが最も利用者数が多くなっています。

○ 東ルート（左回り）運行便別利用者数



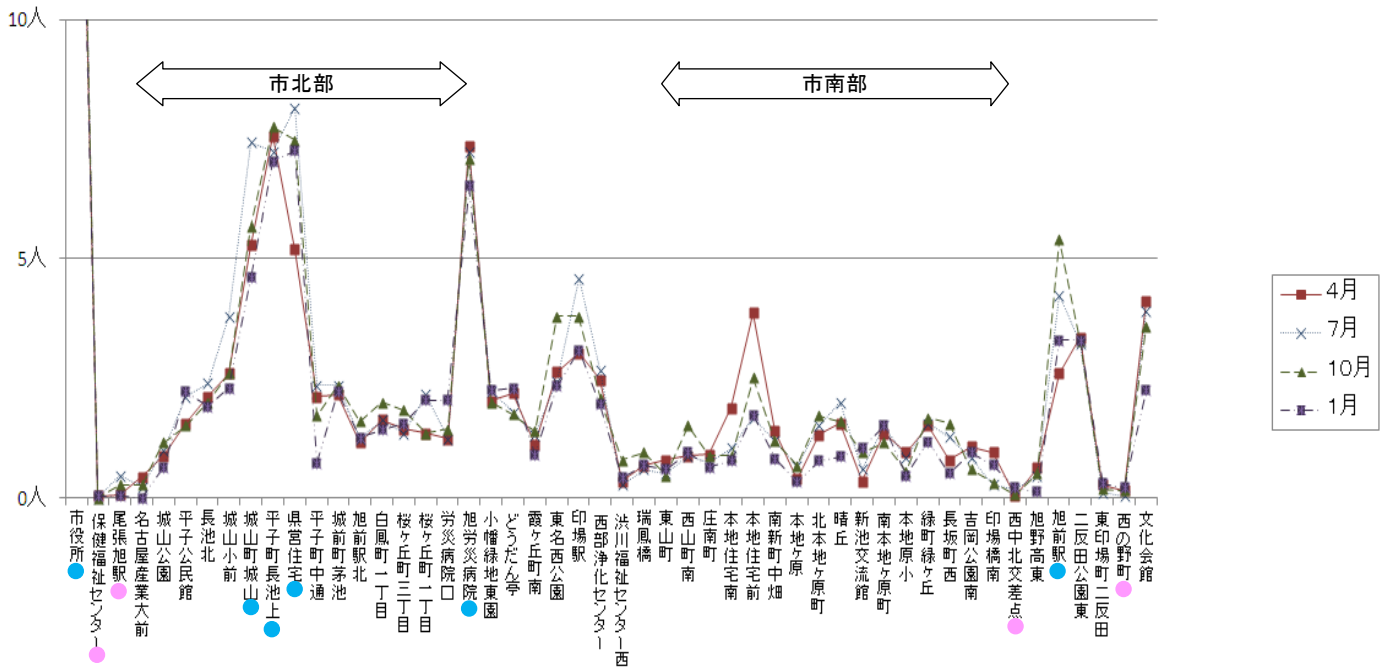
(5) 停留所別利用者数の状況

平成23年4月、7月、10月及び平成24年1月における西ルート及び東ルートの1日あたりの利用者数を、停留所別に乗車・降車に分けて集計し、それぞれグラフで示しました。

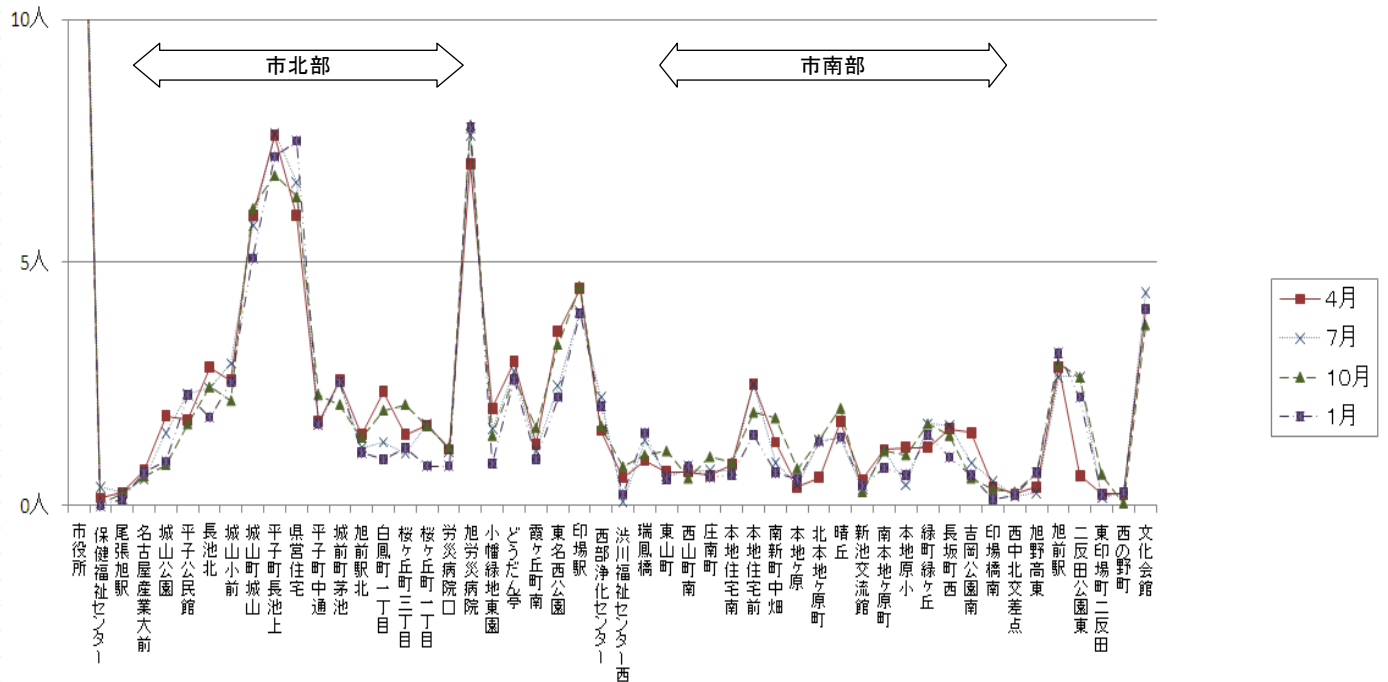
ア 西ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所は、「市役所」「城山町城山」「平子町長池上」「県営住宅」「旭労災病院」「旭前駅」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「西中北交差点」「西の野町」となっており、特に市南部での利用数が少ない傾向にあります。なお、月別の利用状況には、それほど大きな差異は見られません。



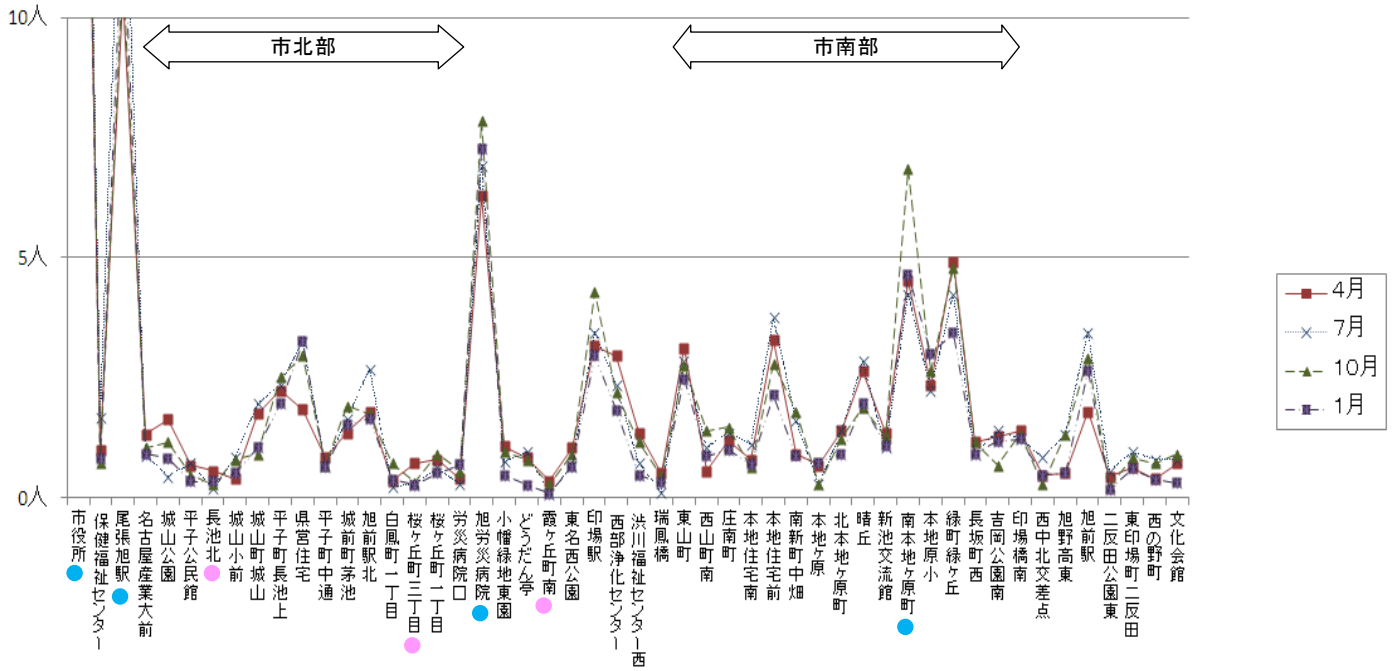
参考 平成22年度西ルート右回り利用状況【乗車】



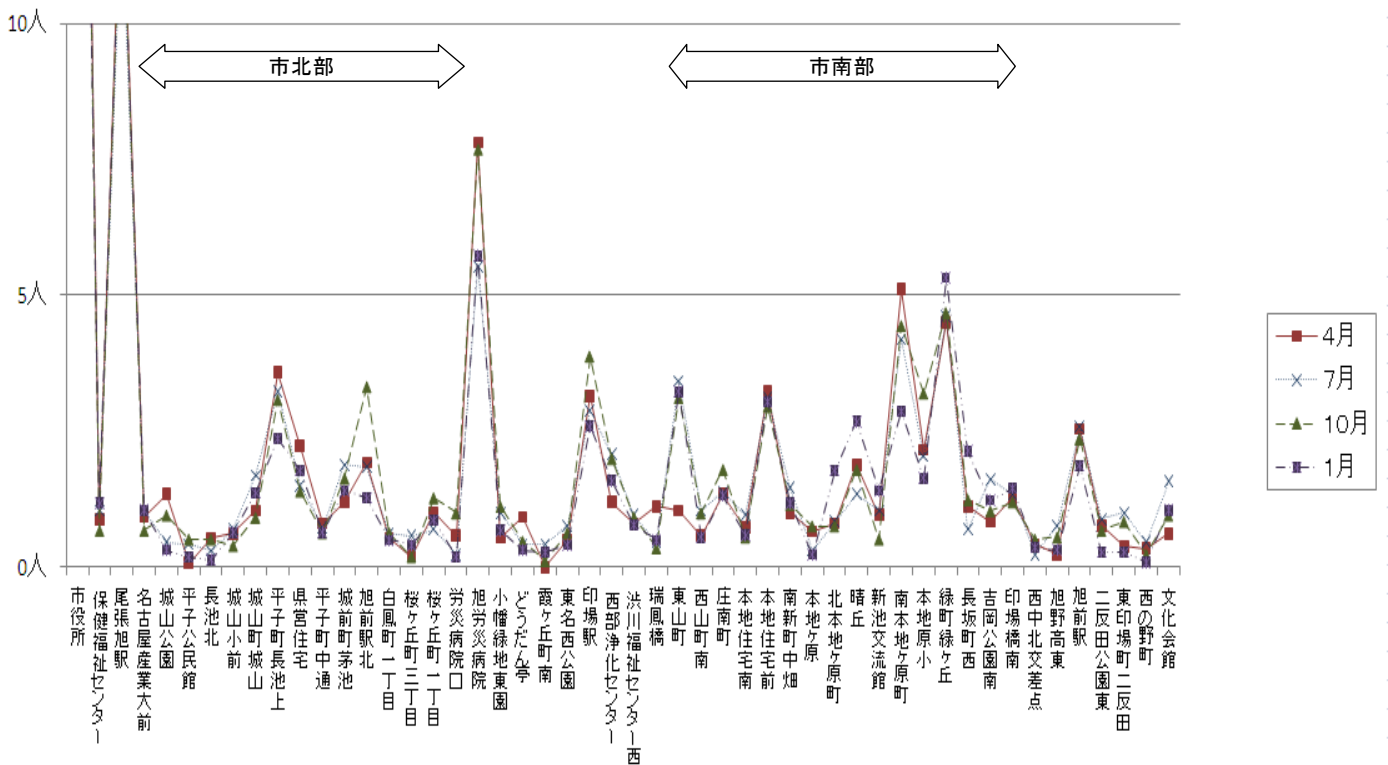
イ 西ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所は、「市役所」「尾張旭駅」「旭労災病院」「南本地ヶ原町」となっており、乗車と比較し、市南部での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「尾張旭駅」での降車が非常に多くなっています。

一方、降車の少ない停留所は、「長池北」「桜ヶ丘町三丁目」「霞ヶ丘町南」となっており、乗車と比較し、市北部での利用数が少ない傾向にあります。



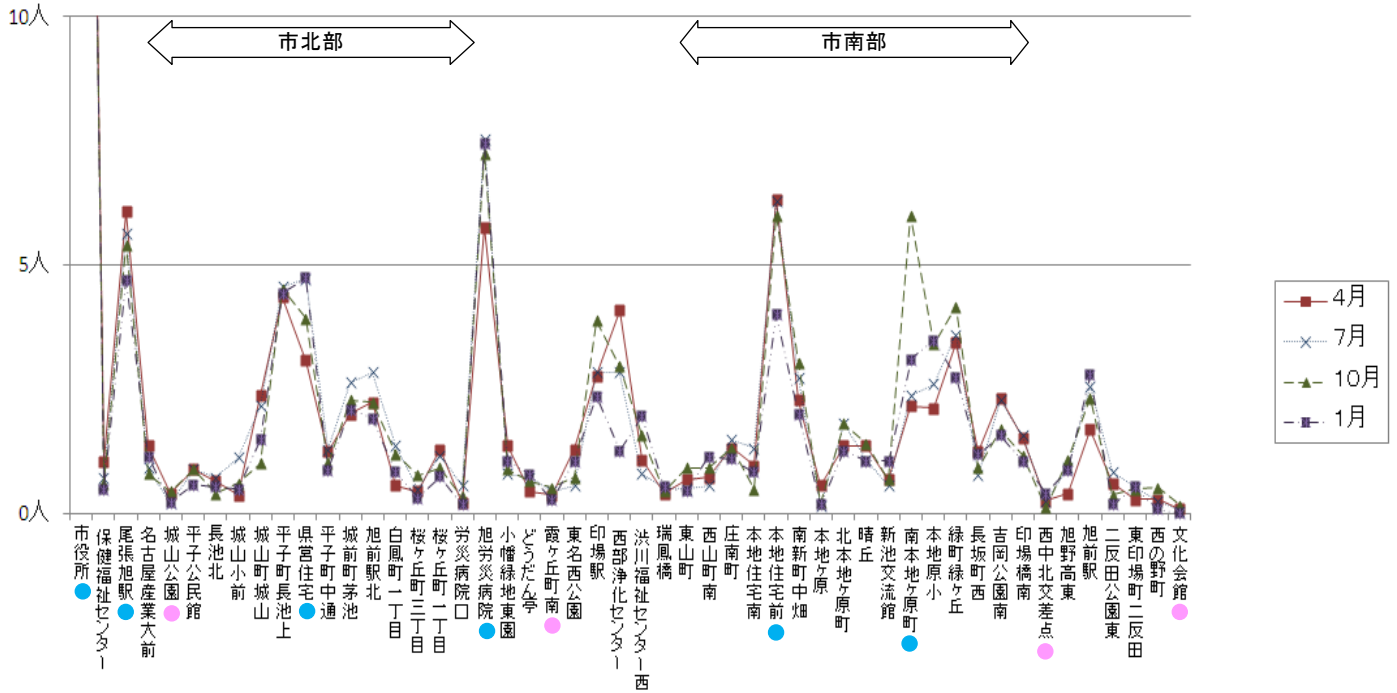
参考 平成22年度西ルート右回り利用状況【降車】



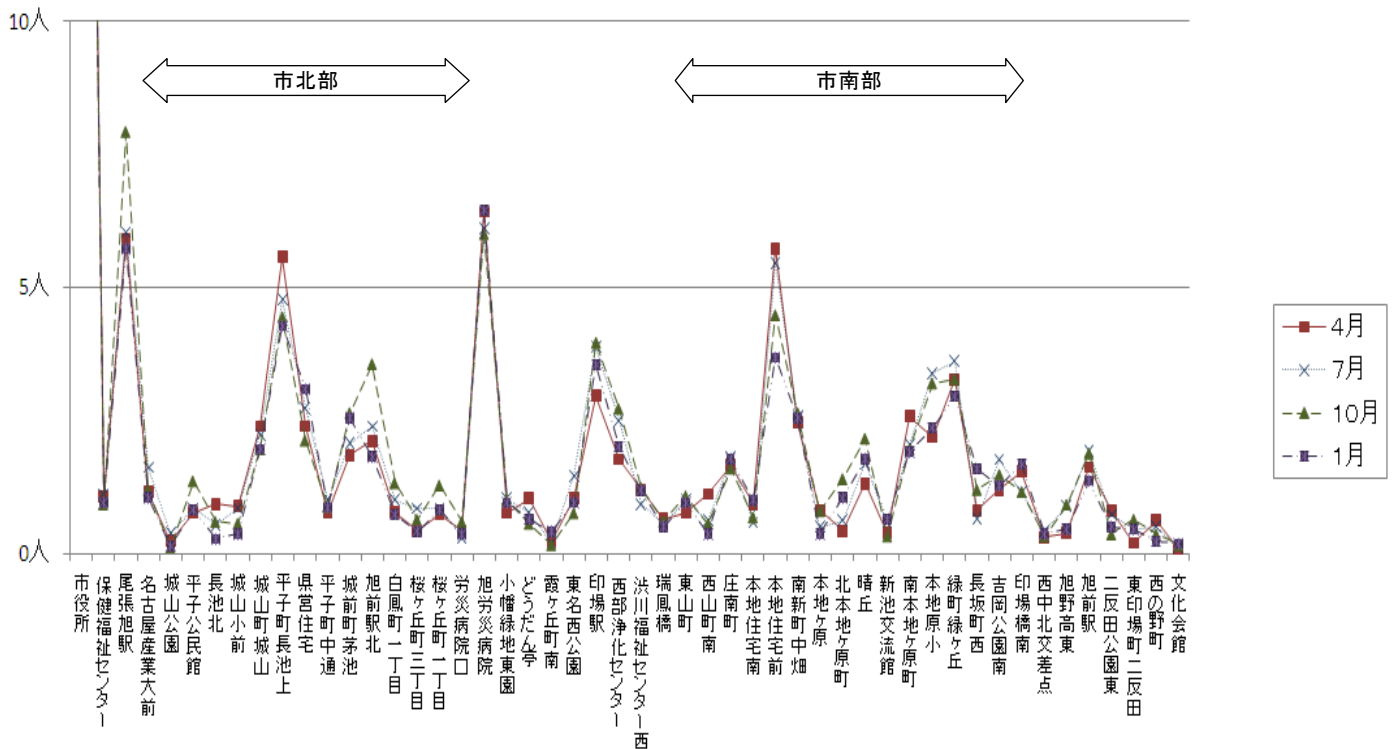
ウ 西ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所は、「市役所」「尾張旭駅」「県営住宅」「旭労災病院」「本地住宅前」「南本地ヶ原町」となっており、「右回り」と比較し、市北部の住宅地での利用数がやや少ない状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所は、「城山公園」「霞ヶ丘町南」「西中北交差点」「文化会館」となっています。全般的に「右回り」の「降車」と類似した傾向が見られます。



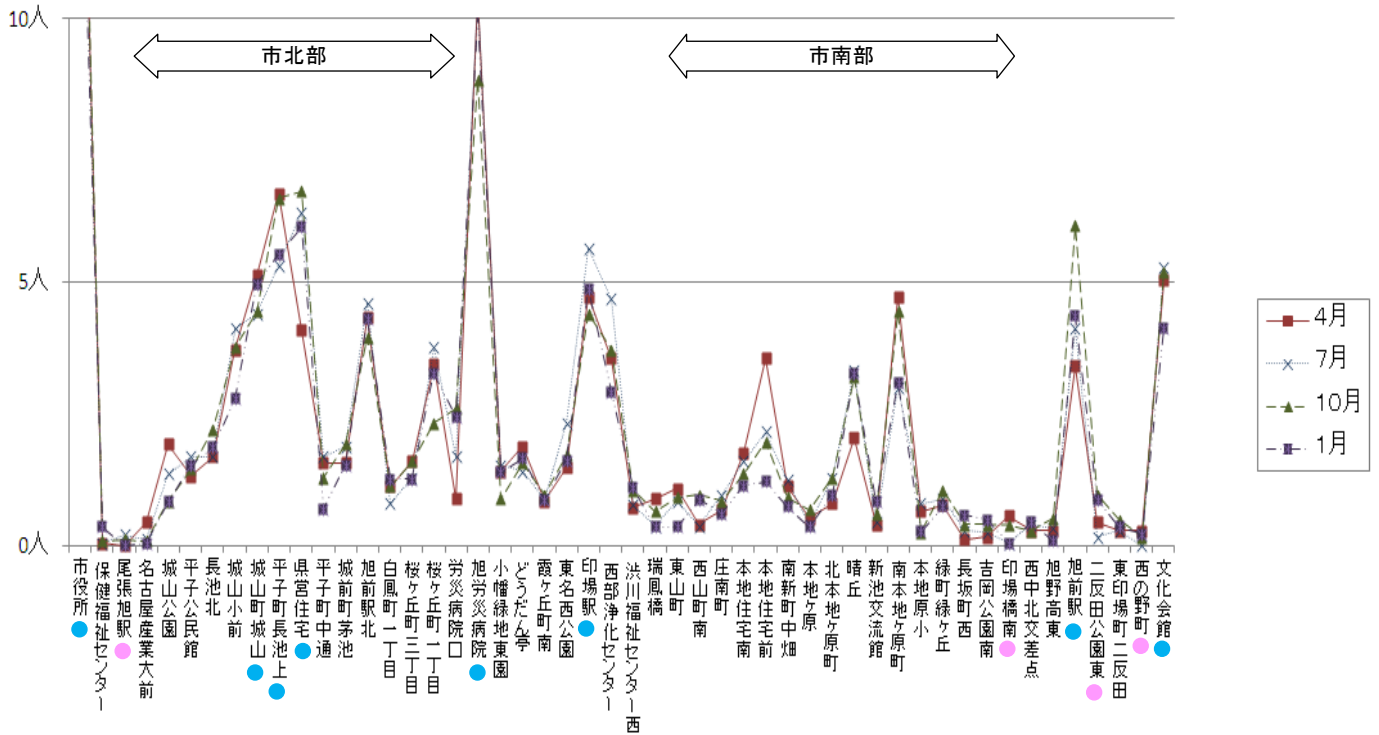
参考 平成22年度西ルート左回り利用状況【乗車】



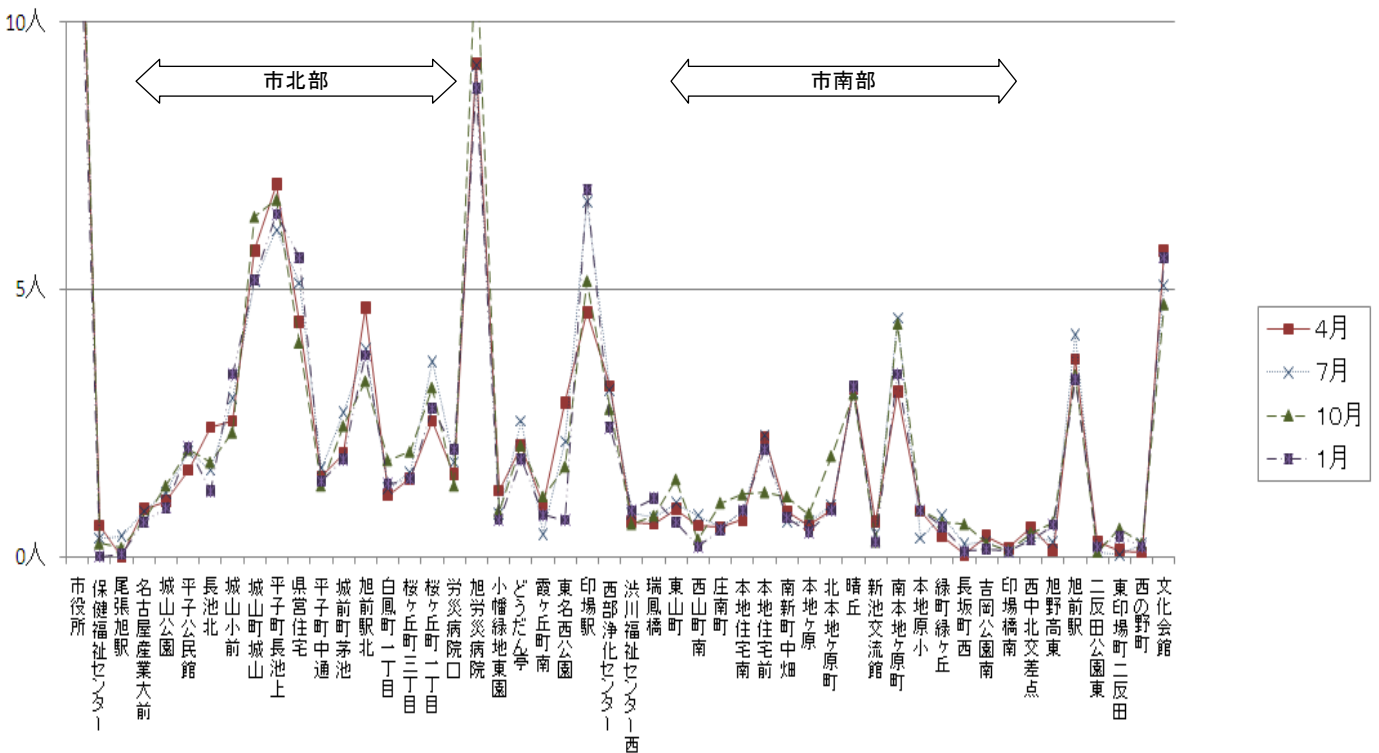
エ 西ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所は、「市役所」「城山町城山」「平子町長池上」「県営住宅」「旭労災病院」「印場駅」「旭前駅」「文化会館」となっており、「右回り」の「乗車」と類似した傾向が見られます。

一方、降車の少ない停留所は、「尾張旭駅」「印場橋南」「二反田公園東」「西の野町」となっており、「右回り」で「尾張旭駅」の利用数が多かったことと対照的な結果となっています。



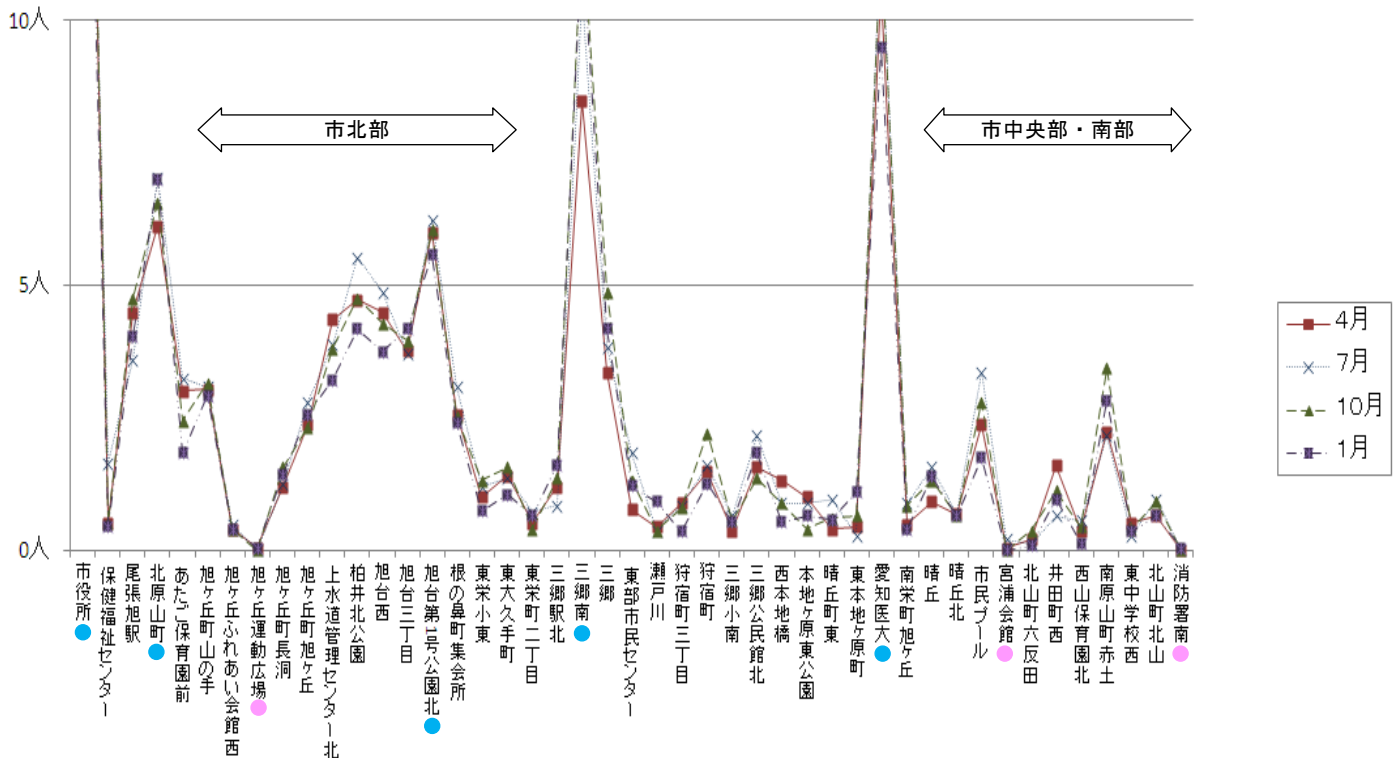
参考 平成22年度西ルート左回り利用状況【降車】



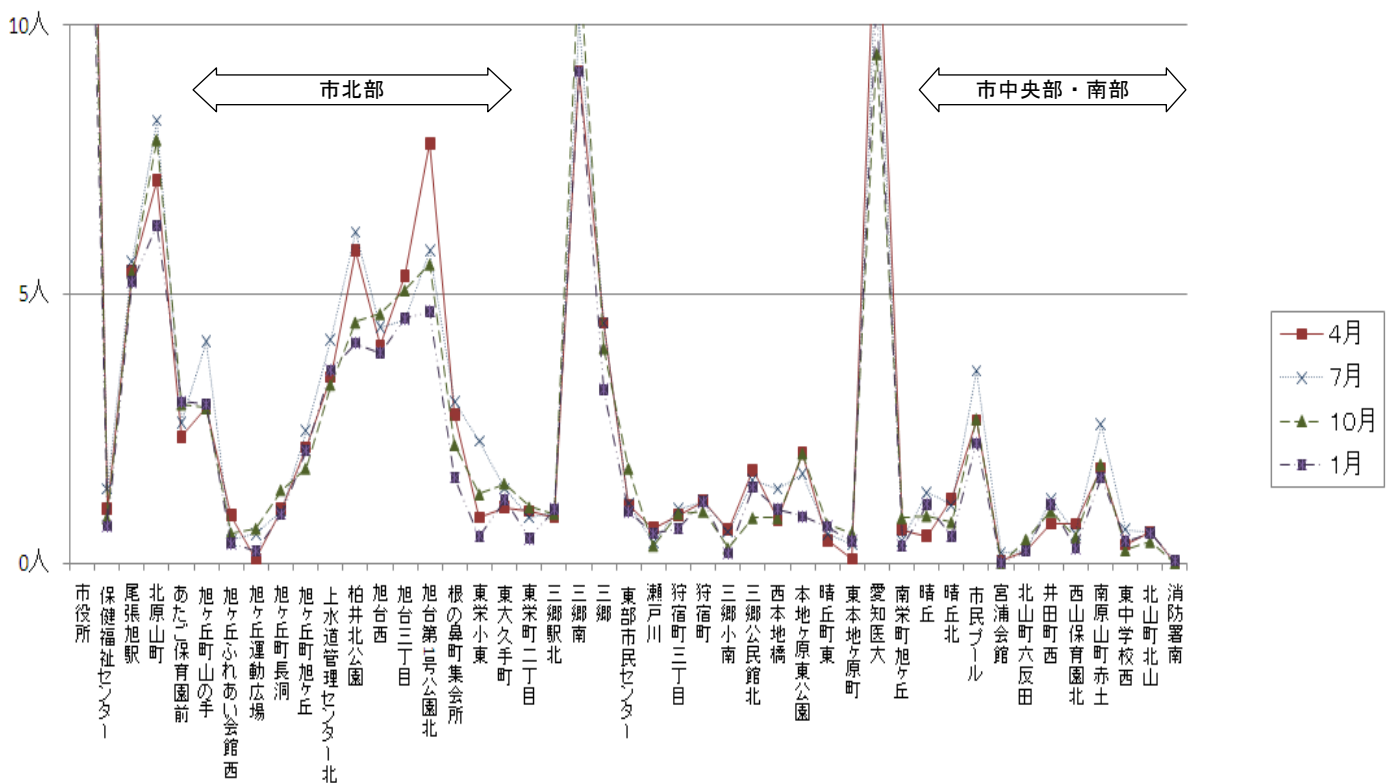
オ 東ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所は、「市役所」「北原山町」「旭台第1号公園北」「三郷南」「愛知医大」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所は、「旭ヶ丘運動広場」「宮浦会館」「消防署南」となっており、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



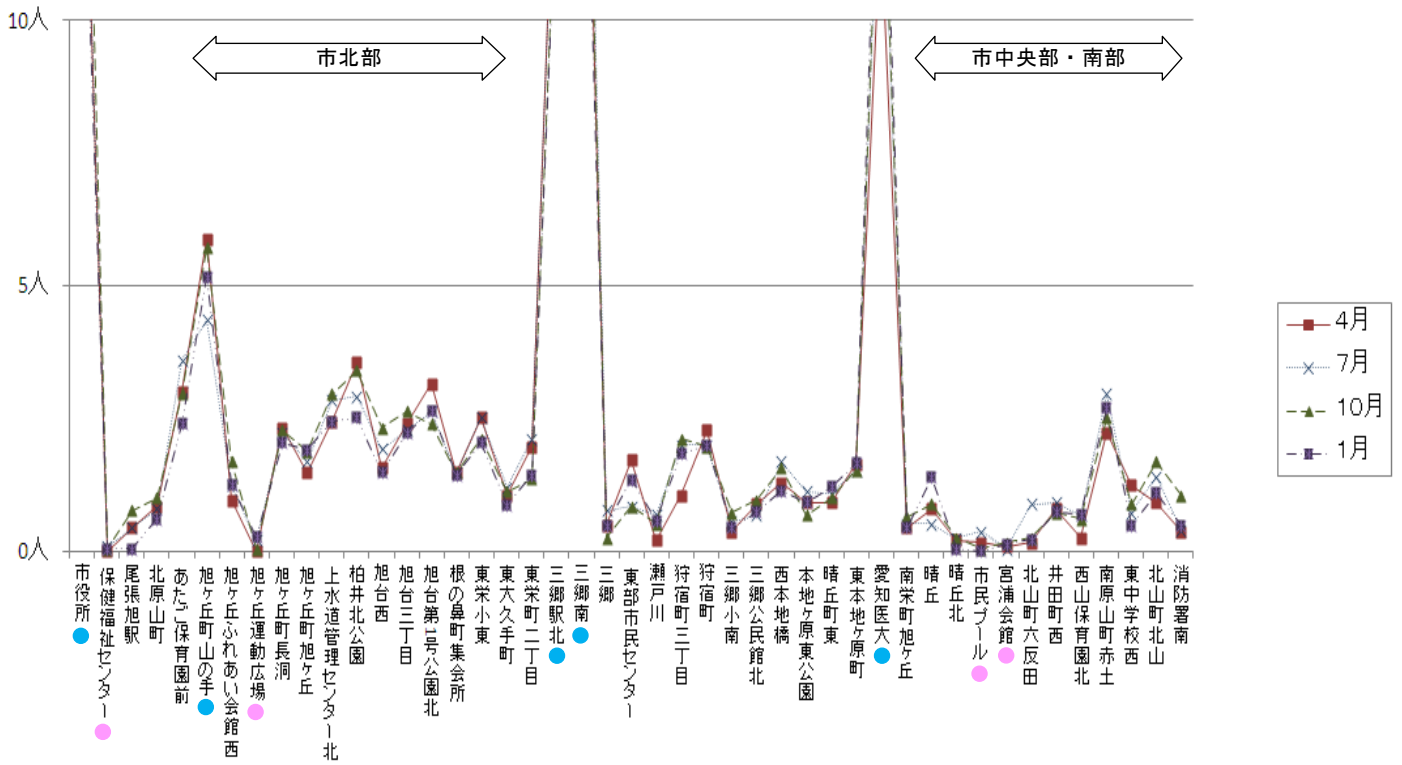
参考 平成22年度東ルート右回り利用状況【乗車】



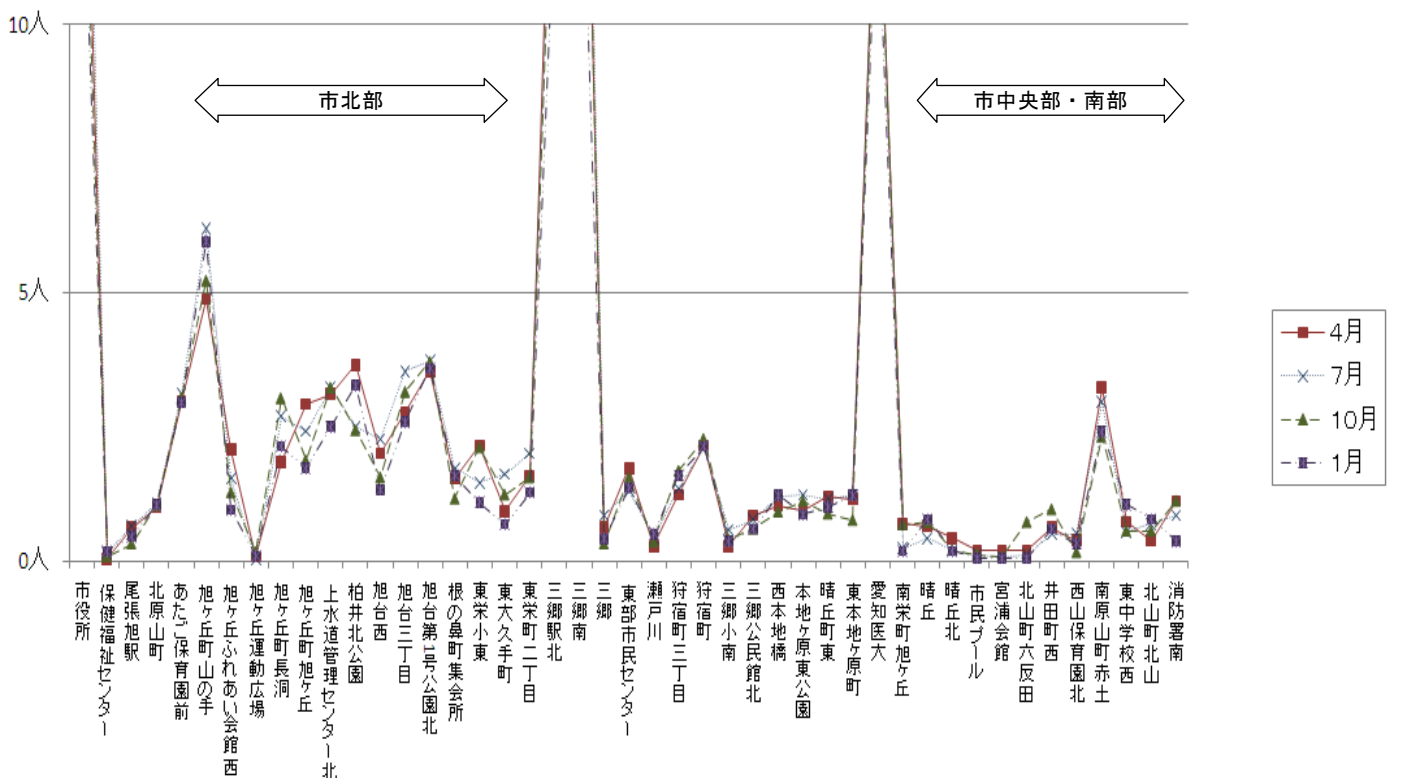
カ 東ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「三郷南」「愛知医大」となっており、特に大型商業施設のある「三郷南」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、降車の少ない停留所は、「保健福祉センター」「旭ヶ丘運動広場」「市民プール」「宮浦会館」となっており、乗車と同様、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



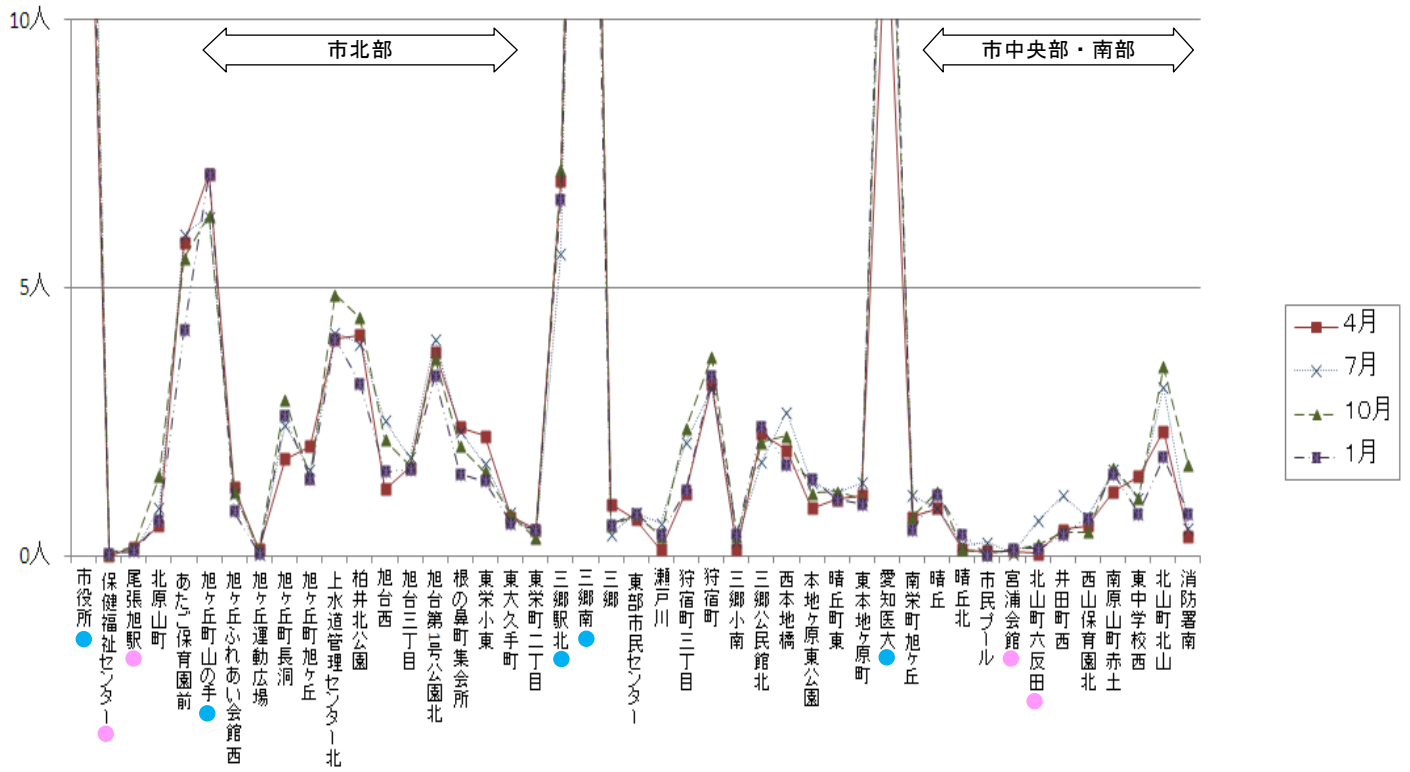
参考 平成22年度東ルート右回り利用状況【降車】



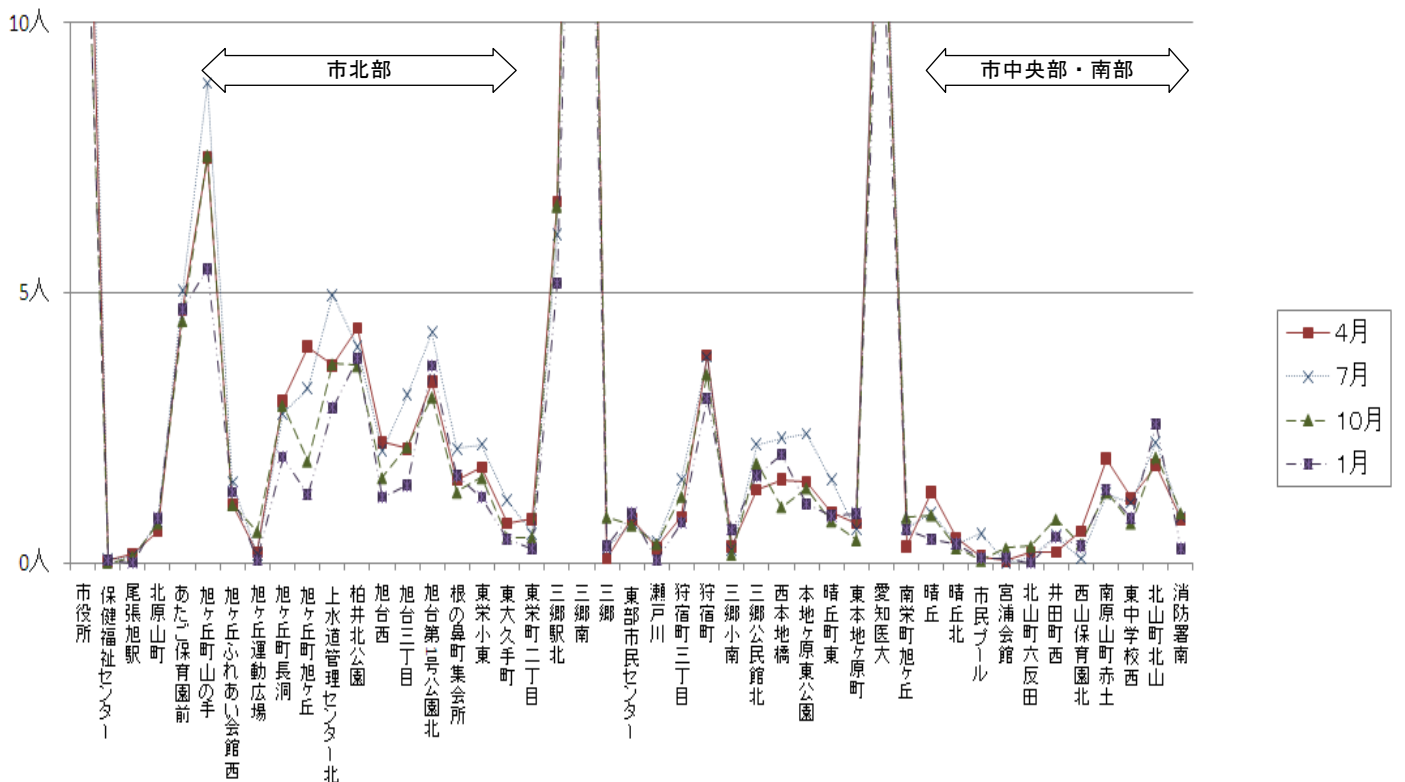
キ 東ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「三郷南」「愛知医大」となっており、「右回り」の降車と同様、「三郷南」は突出して利用数が多い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「宮浦会館」「北山町六反田」となっており、こちらも市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



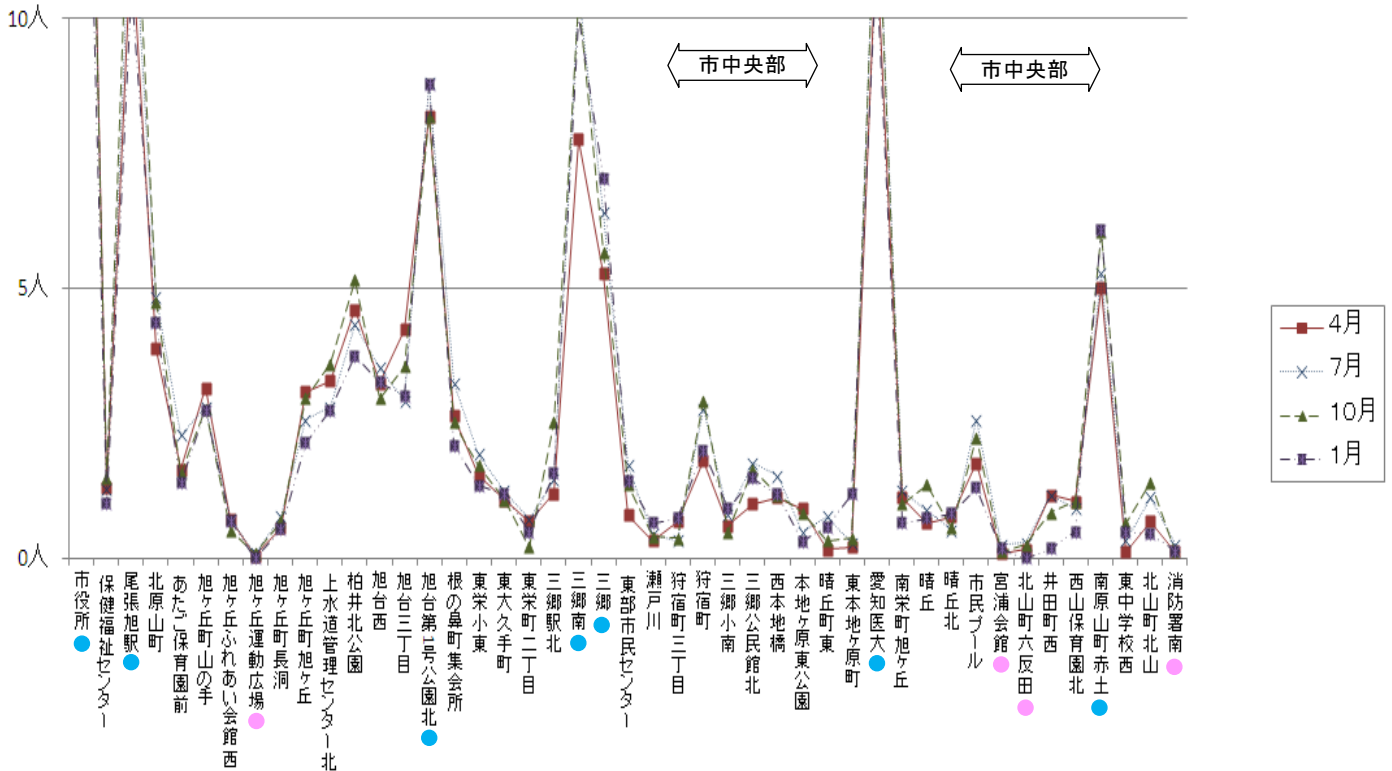
参考 平成22年度東ルート左回り利用状況【乗車】



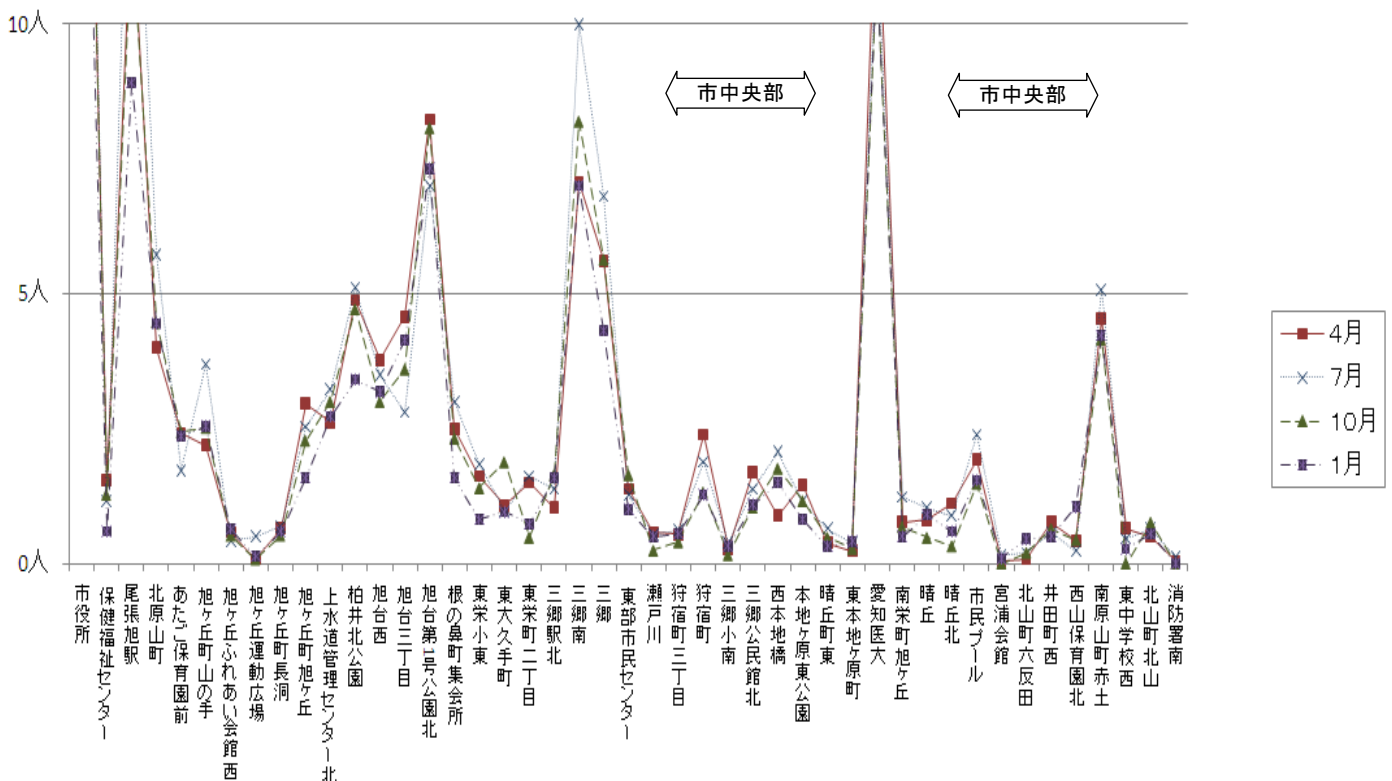
ク 東ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所は、「市役所」「尾張旭駅」「旭台第1号公園北」「三郷南」「三郷」「愛知医大」「南原山町赤土」となっています。

一方、降車の少ない停留所は、「旭ヶ丘町運動広場」「宮浦会館」「北山町六反田」「消防署南」となっており、やはり市中央部での利用数が少ない傾向にあります。



参考 平成22年度東ルート左回り利用状況【降車】



以上の結果により、西ルート及び東ルートの右回り及び左回りの乗車、降車ともに、その利用状況は、北部地域での利用者数が多く、中央部地域や南部地域での利用者数が比較的少ない状況にあります。

また、平成22年4月～平成23年3月の利用状況と平成23年4月～平成24年3月までの利用状況を比較すると、停留所別ではグラフの形状がほとんど同じであり、バス利用者の移動実態が明確になっています。

▽ 住宅地における停留所の利用については、城山町、平子町、旭ヶ丘町、旭台といった市北部の丘陵地域にある住宅地での利用が多数あるのに対し、矢田川以南や、井田町、瀬戸川町、北山町といった市中央部の住宅地では少数にとどまっています。

▽ 「市役所」停留所は、最も利用者数が多い停留所となっています。ここでは、東西ルートでの乗り継ぎが可能なことや、市役所、市民会館、体育館などの施設や尾張旭駅に隣接していることが多い理由と考えられます。

▽ 「旭労災病院」や「愛知医大」などの病院に隣接した停留所の利用は、乗車、降車ともに多く、通院などに市営バスを利用する人にとって重要な停留所となっています。

▽ 大型商業施設内に設置した「三郷南」の利用者数も「右回り」「左回り」とともに多く、こちらも重要な停留所となっています。

(6) ルート別の停留所利用の状況

平成23年4月から平成24年3月までの間の、各ルートにおける停留所の利用状況（1日あたり平均利用者数）の結果は次のとおりとなりました。

○ 西ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	19.7
2	県営住宅	7.4
3	旭労災病院	7.3
4	平子町長池上	7.1
5	城山町城山	5.8
6	旭前駅	3.8
7	印場駅	3.7
8	文化会館	3.6
9	二反田公園東	3.1
10	東名西公園	2.8
11	城山小前	2.7
12	西部浄化センター	2.4
13	本地住宅前	2.4
14	長池北	2.3
15	城前町茅池	2.3
16	小幡緑地東園	2.2
17	どうたん寺	2.1
18	平子公民館	1.9
19	白鳳町一丁目	1.8
20	桜ヶ丘町一丁目	1.7
21	平子町中通	1.6
22	旭前駅北	1.6
23	桜ヶ丘町三丁目	1.6
24	北本地ヶ原町	1.6
25	晴丘	1.5
26	緑町緑ヶ丘	1.5
27	労災病院口	1.5
28	南本地ヶ原町	1.2
29	霞ヶ丘町南	1.2
30	南新町中畑	1.1
31	西山町南	1.0
32	本地住宅南	1.0
33	長坂町西	1.0
34	城山公園	0.9
35	吉岡公園南	0.9
36	庄南町	0.8
37	瑞鳳橋	0.8
38	新池交流館	0.7
39	東山町	0.7
40	本地原小	0.7
41	本地ヶ原	0.5
42	旭野高東	0.5
43	印場橋南	0.5
44	渡川福祉センター西	0.4
45	東印場町二反田	0.3
46	西中北交差点	0.2
47	尾張旭駅	0.2
48	名古屋産業大前	0.1
49	西の野町	0.1
50	保健福祉センター	0.0

番号	停留所	降車
1	市役所	26.5
2	尾張旭駅	12.1
3	旭労災病院	7.0
4	南本地ヶ原町	5.1
5	緑町緑ヶ丘	4.4
6	印場駅	3.5
7	本地住宅前	3.0
8	県営住宅	2.7
9	東山町	2.7
10	旭前駅	2.7
11	本地原小	2.6
12	平子町長池上	2.4
13	西部浄化センター	2.3
14	晴丘	2.2
15	旭前駅北	2.1
16	南新町中畑	1.6
17	庄南町	1.5
18	城前町茅池	1.5
19	城山町城山	1.4
20	印場橋南	1.4
21	新池交流館	1.2
22	吉岡公園南	1.1
23	北本地ヶ原町	1.1
24	保健福祉センター	1.1
25	長坂町西	1.1
26	渡川福祉センター西	1.0
27	西山町南	0.9
28	名古屋産業大前	0.9
29	文化会館	0.9
30	城山公園	0.9
31	本地住宅南	0.8
32	どうたん寺	0.8
33	旭野高東	0.8
34	東名西公園	0.7
35	小幡緑地東園	0.7
36	東印場町二反田	0.7
37	桜ヶ丘町一丁目	0.7
38	平子町中通	0.7
39	城山小前	0.6
40	白鳳町一丁目	0.6
41	平子公民館	0.5
42	西の野町	0.5
43	労災病院口	0.5
44	西中北交差点	0.4
45	瑞鳳橋	0.4
46	本地ヶ原	0.4
47	二反田公園東	0.4
48	桜ヶ丘町三丁目	0.3
49	長池北	0.3
50	霞ヶ丘町南	0.2

○ 西ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	32.0
2	旭労災病院	6.9
3	本地住宅前	5.6
4	尾張旭駅	5.4
5	平子町長池上	4.8
6	県営住宅	4.1
7	南本地ヶ原町	3.6
8	緑町緑ヶ丘	3.4
9	印場駅	3.1
10	本地原小	3.1
11	南新町中畑	2.9
12	西部浄化センター	2.7
13	旭前駅	2.4
14	旭前駅北	2.3
15	城前町茅池	2.2
16	城山町城山	2.0
17	吉岡公園南	1.8
18	庄南町	1.5
19	北本地ヶ原町	1.4
20	印場橋南	1.4
21	晴丘	1.4
22	渡川福祉センター西	1.3
23	長坂町西	1.3
24	名古屋産業大前	1.1
25	平子町中通	1.0
26	白鳳町一丁目	1.0
27	桜ヶ丘町一丁目	1.0
28	本地住宅南	0.9
29	旭野高東	0.9
30	小幡緑地東園	0.9
31	東名西公園	0.9
32	西山町南	0.8
33	平子公民館	0.7
34	どうたん亭	0.7
35	保健福祉センター	0.7
36	東山町	0.7
37	新池交流館	0.7
38	瑞鳳橋	0.6
39	城山小前	0.5
40	城山公園	0.5
41	長池北	0.5
42	桜ヶ丘町三丁目	0.5
43	東印場町二反田	0.4
44	労災病院口	0.4
45	鶴ヶ丘町南	0.3
46	西の野町	0.3
47	西中北交差点	0.3
48	二反田公園東	0.3
49	本地ヶ原	0.3
50	文化会館	0.1

番号	停留所	降車
1	市役所	16.4
2	旭労災病院	10.2
3	平子町長池上	6.0
4	県営住宅	5.9
5	印場駅	5.2
6	文化会館	5.1
7	城山町城山	4.8
8	旭前駅	4.8
9	旭前駅北	4.6
10	南本地ヶ原町	4.2
11	西部浄化センター	3.4
12	城山小前	3.2
13	桜ヶ丘町一丁目	3.2
14	晴丘	2.8
15	城前町茅池	1.9
16	本地住宅前	1.9
17	労災病院口	1.9
18	長池北	1.9
19	どうたん亭	1.7
20	東名西公園	1.7
21	平子公民館	1.5
22	白鳳町一丁目	1.5
23	桜ヶ丘町三丁目	1.4
24	小幡緑地東園	1.4
25	平子町中通	1.3
26	北本地ヶ原町	1.2
27	城山公園	1.1
28	本地住宅南	1.1
29	鶴ヶ丘町南	1.0
30	緑町緑ヶ丘	0.9
31	南新町中畑	0.9
32	渡川福祉センター西	0.8
33	東山町	0.8
34	西山町南	0.8
35	庄南町	0.7
36	二反田公園東	0.7
37	本地原小	0.6
38	新池交流館	0.5
39	瑞鳳橋	0.5
40	本地ヶ原	0.5
41	東印場町二反田	0.4
42	吉岡公園南	0.4
43	旭野高東	0.3
44	長坂町西	0.3
45	西中北交差点	0.3
46	印場橋南	0.2
47	西の野町	0.2
48	名古屋産業大前	0.1
49	保健福祉センター	0.1
50	尾張旭駅	0.1

○ 東ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	21.8
2	愛知医大	10.8
3	三郷南	10.7
4	北原山町	7.1
5	旭台第1号公園北	6.1
6	柏井北公園	5.1
7	旭台西	4.3
8	尾張旭駅	4.3
9	上水道管理センター北	4.1
10	旭台3丁目	4.0
11	三郷	3.9
12	旭ヶ丘町山の手	2.9
13	市民プール	2.8
14	あたご保育園前	2.7
15	南原山町赤土	2.6
16	根の鼻町集会所	2.6
17	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.5
18	三郷公民館北	1.7
19	三郷駅北	1.6
20	狩宿町	1.6
21	東大久手町	1.5
22	旭ヶ丘町長洞	1.3
23	東部市民センター	1.2
24	晴丘	1.2
25	東栄小東	1.2
26	西本地橋	0.9
27	井田町西	0.9
28	本地ヶ原東公園	0.8
29	北山町北山	0.8
30	狩宿町三丁目	0.8
31	東本地ヶ原町	0.7
32	三郷小南	0.7
33	晴丘北	0.7
34	南栄町旭ヶ丘	0.7
35	保健福祉センター	0.7
36	晴丘町東	0.7
37	東栄町二丁目	0.6
38	旭ヶ丘ふれあい会館西	0.6
39	瀬戸川	0.5
40	西山保育園北	0.5
41	東中学校西	0.4
42	北山町六反田	0.2
43	宮浦会館	0.0
44	旭ヶ丘運動広場	0.0
45	消防署南	0.0

番号	停留所	降車
1	三郷南	19.6
2	市役所	16.3
3	愛知医大	14.4
4	三郷駅北	13.9
5	旭ヶ丘町山の手	5.0
6	柏井北公園	2.9
7	あたご保育園前	2.8
8	上水道管理センター北	2.8
9	旭台第1号公園北	2.7
10	南原山町赤土	2.7
11	旭ヶ丘町長洞	2.3
12	旭台3丁目	2.2
13	東栄小東	2.2
14	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.1
15	狩宿町	2.1
16	旭台西	1.9
17	狩宿町三丁目	1.7
18	東本地ヶ原町	1.7
19	西本地橋	1.5
20	根の鼻町集会所	1.5
21	東栄町二丁目	1.5
22	旭ヶ丘ふれあい会館西	1.3
23	北山町北山	1.2
24	東大久手町	1.2
25	北原山町	1.1
26	東部市民センター	1.0
27	晴丘町東	1.0
28	本地ヶ原東公園	0.9
29	晴丘	0.8
30	井田町西	0.8
31	東中学校西	0.7
32	消防署南	0.7
33	南栄町旭ヶ丘	0.7
34	三郷公民館北	0.7
35	瀬戸川	0.6
36	三郷小南	0.5
37	西山保育園北	0.5
38	三郷	0.5
39	尾張旭駅	0.4
40	北山町六反田	0.4
41	晴丘北	0.2
42	市民プール	0.2
43	宮浦会館	0.2
44	旭ヶ丘運動広場	0.1
45	保健福祉センター	0.1

○ 東ルート（左回り）

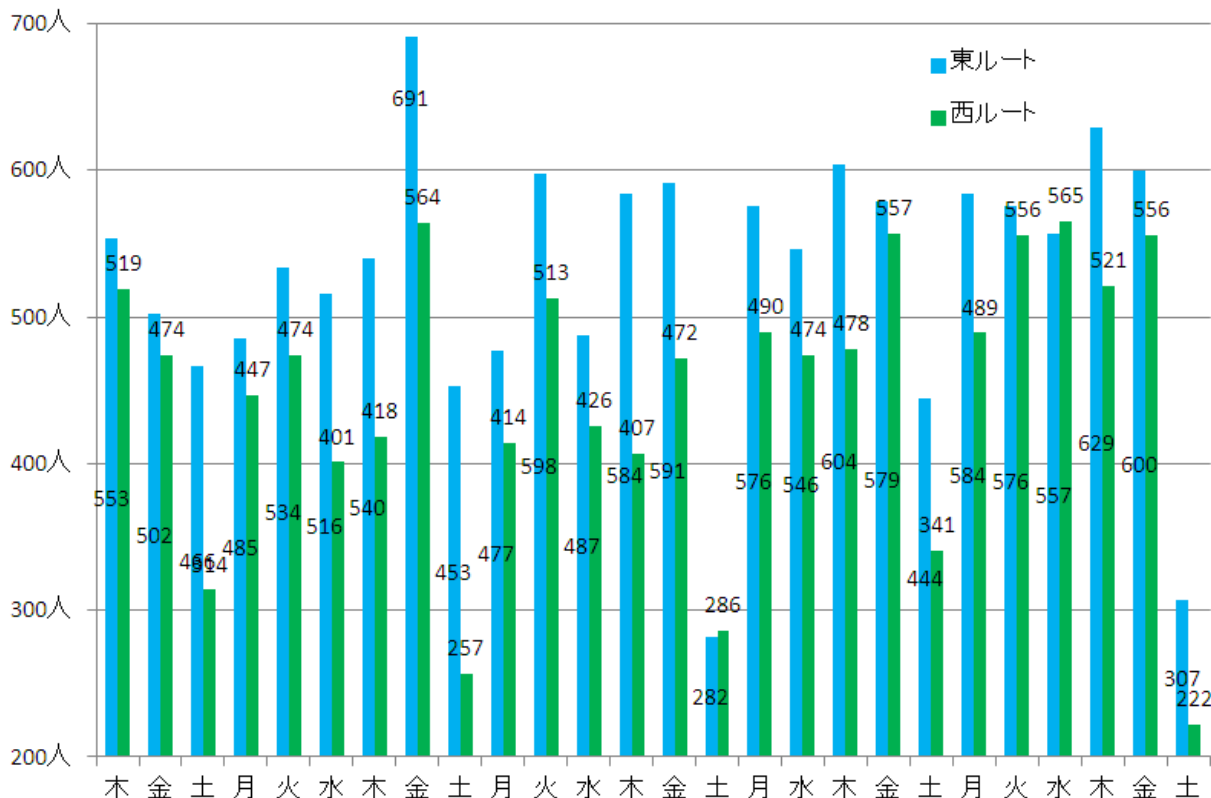
番号	停留所	乗車
1	三郷南	26.2
2	市役所	19.4
3	愛知医大	15.3
4	旭ヶ丘町山の手	6.9
5	三郷駅北	6.7
6	あたご保育園前	5.6
7	上水道管理センター北	4.1
8	柏井北公園	3.9
9	旭台第1号公園北	3.6
10	狩宿町	3.5
11	北山町北山	2.6
12	旭ヶ丘町長洞	2.5
13	三郷公民館北	2.1
14	西本地橋	2.1
15	旭台西	2.0
16	根の鼻町集会所	2.0
17	東栄小東	1.8
18	旭ヶ丘町旭ヶ丘	1.8
19	南原山町赤土	1.7
20	旭台3丁目	1.6
21	狩宿町三丁目	1.5
22	旭ヶ丘ふれあい会館西	1.3
23	本地ヶ原東公園	1.2
24	晴丘町東	1.2
25	消防署南	1.0
26	東本地ヶ原町	1.0
27	東中学校西	1.0
28	晴丘	1.0
29	北原山町	1.0
30	南栄町旭ヶ丘	0.9
31	東大久手町	0.8
32	井田町西	0.7
33	東部市民センター	0.7
34	三郷	0.6
35	西山保育園北	0.6
36	瀬戸川	0.5
37	東栄町二丁目	0.4
38	三郷小南	0.2
39	晴丘北	0.2
40	北山町六反田	0.2
41	市民プール	0.1
42	旭ヶ丘運動広場	0.1
43	尾張旭駅	0.1
44	宮浦会館	0.1
45	保健福祉センター	0.0

番号	停留所	降車
1	市役所	21.2
2	尾張旭駅	12.3
3	愛知医大	11.8
4	三郷南	9.7
5	旭台第1号公園北	8.3
6	三郷	6.1
7	南原山町赤土	5.5
8	北原山町	4.8
9	柏井北公園	4.3
10	旭台3丁目	3.6
11	旭台西	3.3
12	上水道管理センター北	3.2
13	旭ヶ丘町山の手	2.7
14	根の鼻町集会所	2.6
15	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.6
16	狩宿町	2.2
17	市民プール	1.8
18	東栄小東	1.7
19	あたご保育園前	1.6
20	三郷駅北	1.6
21	三郷公民館北	1.5
22	東部市民センター	1.4
23	東大久手町	1.3
24	保健福祉センター	1.3
25	西本地橋	1.3
26	南栄町旭ヶ丘	1.1
27	北山町北山	1.0
28	晴丘	1.0
29	西山保育園北	0.9
30	旭ヶ丘ふれあい会館西	0.9
31	三郷小南	0.8
32	旭ヶ丘町長洞	0.8
33	井田町西	0.8
34	本地ヶ原東公園	0.7
35	晴丘北	0.6
36	東栄町二丁目	0.6
37	晴丘町東	0.6
38	東本地ヶ原町	0.6
39	狩宿町三丁目	0.5
40	瀬戸川	0.5
41	東中学校西	0.5
42	消防署南	0.2
43	北山町六反田	0.2
44	宮浦会館	0.1
45	旭ヶ丘運動広場	0.1

(7) 曜日別利用者数の状況

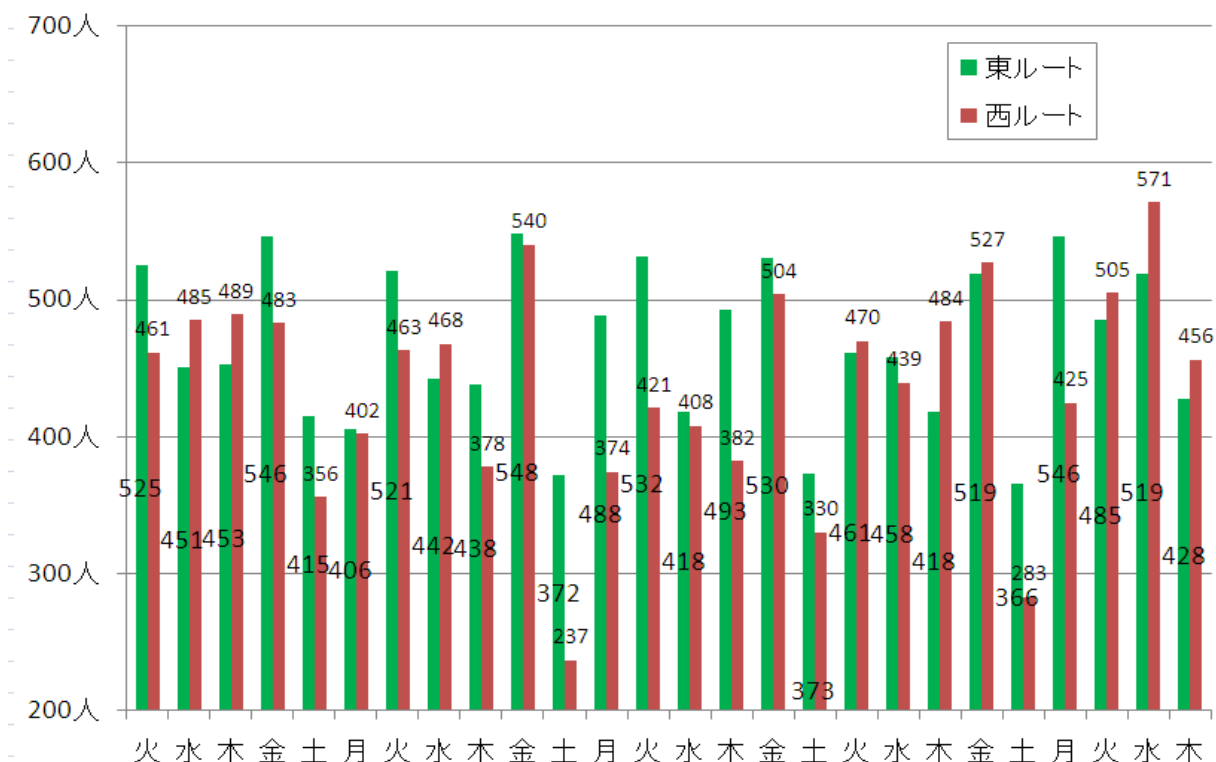
平成24年3月の1か月間の利用者数をグラフで示しました。

平日に比べ土曜日の利用者数が少なくなっています。これは、病院の休みや家族での外出機会がその要因の一つと考えられます。



※西ルート、東ルートの乗車降車の合計値にて作成

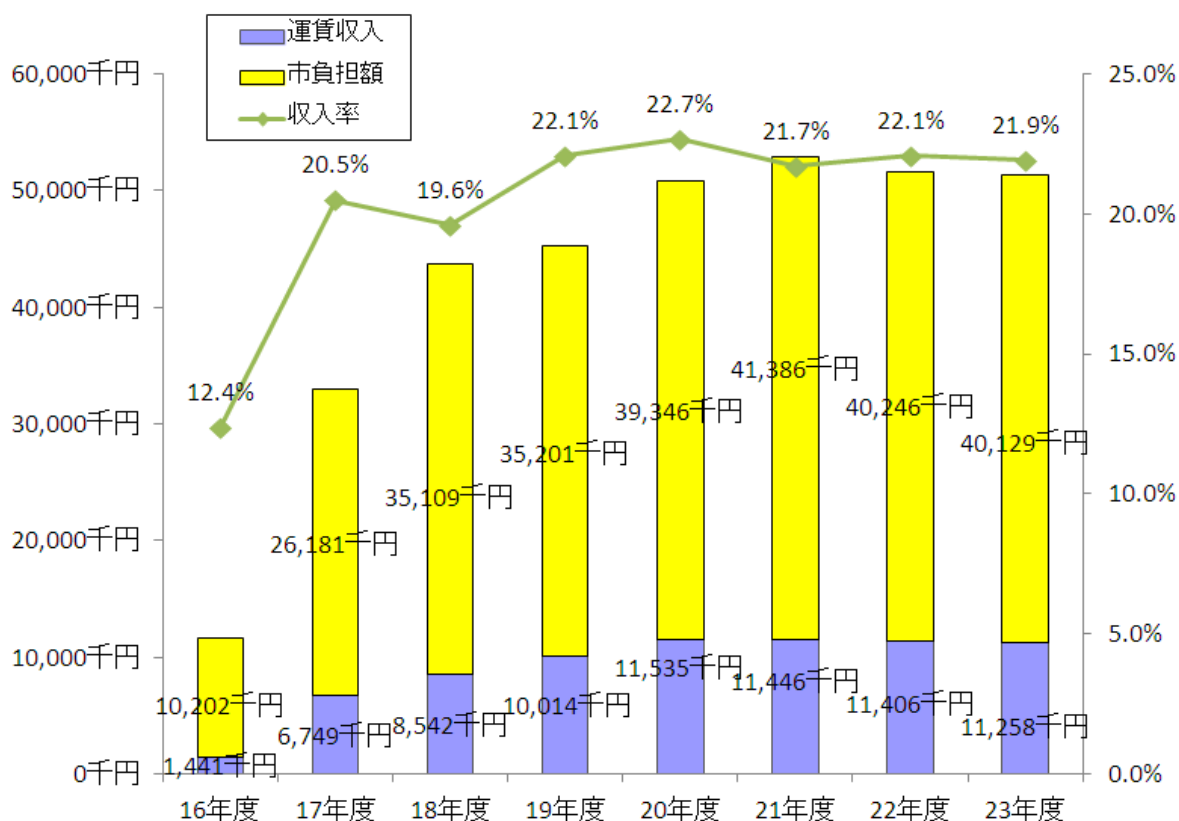
参考 曜日別利用状況【平成23年3月】



4 市営バスの運行経費の状況

(1) 市営バスの運行経費の状況

試験運行の開始以降、ルートの実質やマイクロバスの導入などを進めた結果、平成20年度までは運行経費、利用者数、運賃収入、収入率は年々増加傾向にありました。しかし、平成21年度以降においては利用者数の増加と、運賃収入の増加に頭打ちの傾向がみられ、収入率もほぼ変動がありませんでした。



- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート循環型に変更して運行
- ※ 20年度からは、指定管理者制度を導入。また障がい者本人の運賃を無料化

平成18年度については、東ルートにおいて、10月から11月までの2か月間、マイクロバスによる運行の実証実験を実施し、西ルートにおいても、2月から3月までの間の18日間、マイクロバスによる運行の実証実験（利用料金は無料）を実施したため、運行経費の上昇と運賃収入の減少につながり、収入率は、平成17年度と比較し低下しています。

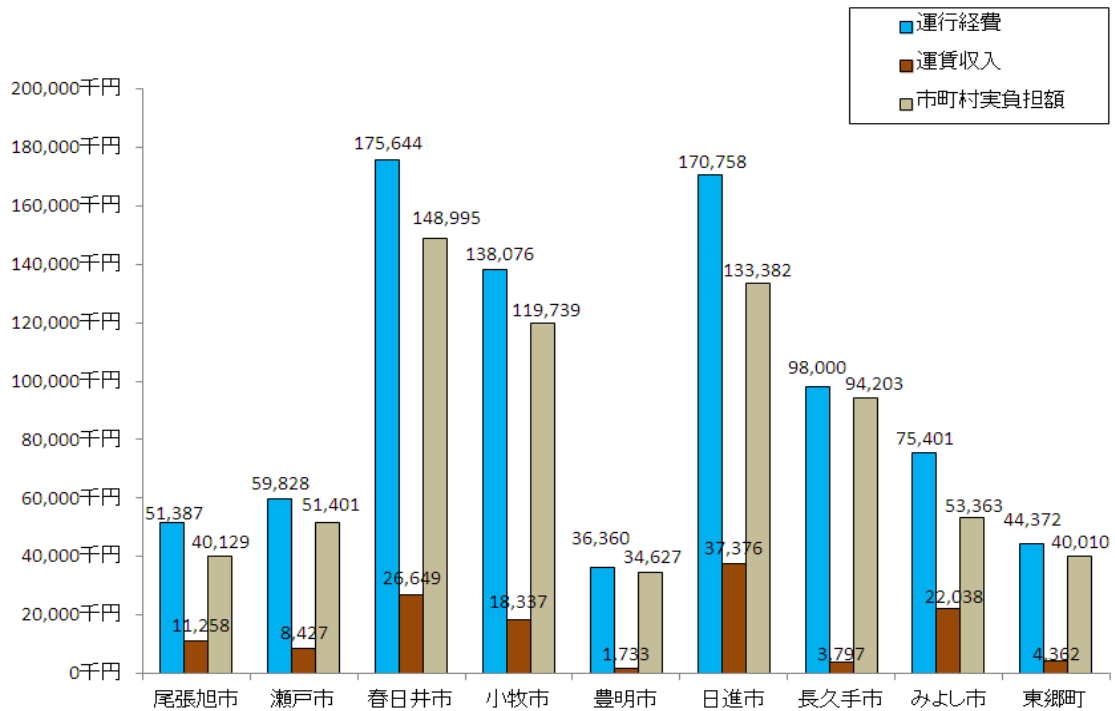
また、平成20年度については、前年度と比較して利用者数が大幅に増加したものの、障がい者本人の運賃無料化や、「双方向ループ方式」への運行方式変更に伴う乗り継ぎ者の減少により、収入率の上昇は僅かなものとなっています。

平成21年度以降は、運賃収入、収入率ともに伸び悩んでいます。

(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況

近隣市町のコミュニティバスにおける平成23年度の運行経費などの状況は、次のとおりです。

○ 運行経費等の状況

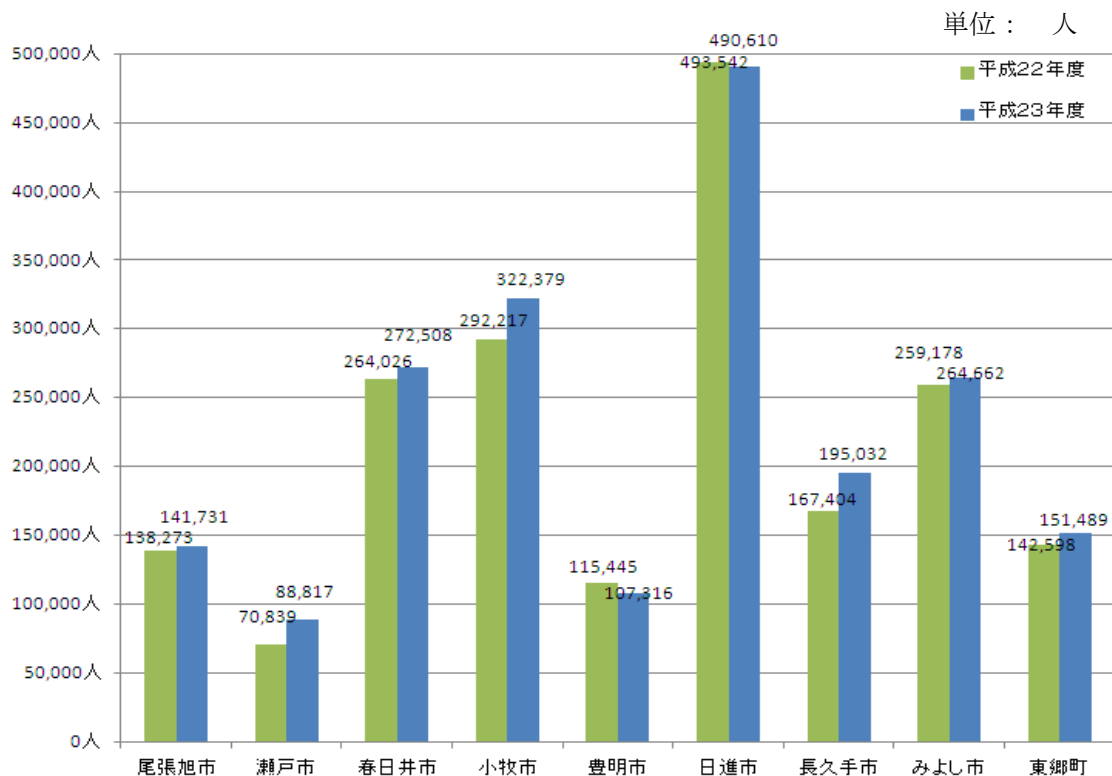


※ 「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について（県地域振興部交通対策課）」より

注）・各市町により、基本運賃や運賃特例などに違いがあるため、一概に数値のみの比較は難しい。

- ・東郷町は、市町村が自ら有償運送を行っているもの（道路運送法79条登録（旧80条許可）による運行）であり、その他の市町は、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託しているもの（道路運送法4条許可による運行）
- ・市町村実負担額については、国県からの補助を含む

○ 年間利用者数



○ 近隣市町のコミュニティバスの内容（平成23年度）

市町村名	バス等の愛称	運行目的	委託事業者名
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	交通空白地区の解消	瀬戸自動車運送(株)
春日井市	かすがいシティバス (はあとふるライナー)	公共交通空白地域の解消 昼間帯の移動手段の確保による日常生活の 利便性向上	名鉄バス(株)
小牧市	こまき巡回バス	交通空白地区の解消 公共施設の利用促進	あおい交通(株)
豊明市	ひまわりバス	交通弱者の社会参加促進 公共施設への利便性の向上 交通空白地区の解消	名鉄バス(株)
日進市	くるりんばす	公共交通空白地域の解消 市民の社会参加・交流の促進	名鉄バス(株)
長久手町	N-バス	交通空白地区の解消 公共施設への利便性向上 交通弱者の社会参加促進 子育て支援 通勤・通学者の朝夕の利便性の向上	名鉄バス(株)
みよし市	さんさんバス	交通空白地区の解消 交通弱者の社会参加支援 地域間の交流促進	愛知つばめ交通(株)
東郷町	じゅんかい君	交通空白地区の解消 町内の活性化	(株)セントラルサービス
尾張旭市	あさびー号	交通空白地区の解消	豊栄交通(株)

市町村名	路線数	使用車 両台数	基本 運行日	1日運行 回数	基本運賃	運賃特例
瀬戸市	8本	5台	毎日 (年末年始を除く) 外	6.5回外	100円	障がい者は半額。 1歳未満児無料。 1歳以上6歳未満児は6歳以上に同伴 される場合無料(2名まで)。
春日井市	4本	8台	毎日 (年末年始を除く)	18.5回 外	200円	未就学児、障がい者 無料。 小人、運転免許自主返納者カード、高 齢者カード所持者 100円。
小牧市	8本	8台	毎日 (年末年始を除く)	10回外	200円	乗継自由。小学生半額。幼児(小学生 未満)無料。 ※身体障害者手帳等を提示すれば付 添1名も無料。 ※ピーチバス等の定期券を提示すれ ば無料。
豊明市	12本	2台	毎日 (年末年始を除く)	5回外	100円	市内在住で中学生以下・65歳以上・ 身体障害者手帳等を携帯している方と 付き添いの方1名無料。
日進市	8本	8台	毎日 (年末年始を除く)	11回外	100円外	他のコースへ当日乗り継ぐ場合、1回 のみ無料。 中学生以下の子ども、身体障害者手 帳等所持者、介護保険法による介護 認定を受けている者及びその付き添い 1名は無料。 運転免許自主返納者(3ヶ月間)無 料。
長久手市	10本	5台	毎日 (年末年始を除く)	16回外	100円	中学生以下、未就学児童同伴の保護 者1名、妊婦、身体障害者手帳所持者 等と付添1名、市発行「あったかあど」 携帯者(高齢者・障害者用)無料。
みよし市	3本	6台	毎日(年中無休)	25回外	100円	未就学児、介助者無料。
東郷町	4本	4台	毎日 (年末年始を除く)	12回外	100円	障がい者と付添1人、中学生以下の 子ども、65歳以上無料。
尾張旭市	2本	4台	月～土 (年末年始、祝日は運休)	6回	100円	未就学児及び障がい者無料(障がい 者の付添も1人まで無料)。

5 市営バス運行に対する市民意識

より利用しやすい市営バスの運行を行うためには、市営バスの利用状況の調査・分析を行うとともに、市民ニーズや意見・提言等を把握して、現在の運行内容における課題・問題点を整理することが必要であると考えられます。

○ 利用者アンケート

利用者からの意見収集により、市営バス運行に係る利用者の属性と利用状況を明らかにし、運行の課題等を抽出することを目的として、下記のとおり利用者アンケートを実施しました。

1 調査期日

平成23年12月8日(木)

2 調査方法

調査員（市営バスあさび一号を育てる会会員、市都市計画課、豊栄交通株式会社）がバスに同乗し、調査期日の利用者に対して、アンケート調査表（様式参照）を配布し、車内に設置したアンケート回収箱により回収しました。

（回収期間：12月8日～22日）

3 回収結果

(1) 西ルート（右回り）	配布枚数	53枚	回収枚数	50枚
(2) 西ルート（左回り）	配布枚数	64枚	回収枚数	61枚
(3) 東ルート（右回り）	配布枚数	55枚	回収枚数	49枚
(4) 東ルート（左回り）	配布枚数	58枚	回収枚数	48枚
合計	配布枚数	230枚	回収枚数	208枚

（回収率 90%）

尾張旭市営バス あさびー号 利用者アンケート調査

このアンケートは、尾張旭市営バス あさびー号に関する利用者の皆様方のご意見をお聞きし、今後の運行改善の参考とするために尾張旭市と市営バス「あさびー号」を育てる会が実施するものです。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

市役所都市計画課・「あさびー号」を育てる会

(当てはまる番号に○を付けてください。また、設問によっては言葉でお答え下さい。)

Q.あなたのことについてお聞きします。

①	年 齢	1 80歳以上	2 70歳代	3 60歳代	4 50歳代
		5 40歳代	6 30歳代	7 20歳代	8 20歳未満
②	性 別	1 男性	2 女性		
③	職 業	1 自営業	2 会社員	3 公務員	4 パート・アルバイト
		5 主婦(夫)	6 学生	7 無職	8 その他()
④	自ら運転して使える交通手段	1 ない 2 自転車 3 バイク 4 自動車			
		※該当する項目全てに○をつけてください。			
⑤	尾張旭市営バスの利用回数	1 ほとんど毎日	2 週3～4回程度	3 週1～2回程度	
		4 月1～3回程度	5 はじめての利用		
⑥	ご自宅からバス停までの時間	1 歩いて3分以内	2 歩いて3～5分	3 歩いて5～7分	
		4 歩いて7～10分	5 歩いて10分以上		

Q.利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑦	利用された目的は何ですか(2つまで)	1 買い物・飲食	2 レジャー・娯楽	3 通院	
		4 市役所への用事(会議を含む)	5 通勤・通学		
		6 仕事上での移動	7 試乗	8 その他()	
⑧	利用する理由は何ですか(2つまで)	1 他に交通手段がないから 2 運賃が安く経済的だから			
		3 利用時間がよかったから 4 出発地・目的地が停留所の近くだから			
		5 市営バス「あさびー号」に興味があったから			
		6 自動車で外出するより便利だから 7 飲酒の機会があったから			
		8 その他()			
⑨	あさびー号の運行によって外出回数は	1 増えた 2 あまり変わらない 3 減った			

Q.あなたがどのようにあさびー号を利用しているのかお聞きします。

⑩	本日の乗降内容について	乗車した停留所 → 降車した停留所	あさびー号の東ルートへの乗換 1 する 2 しない
		※停留所番号のみの記入でも結構です。	他の電車・バスへの乗換 1 する 2 しない
⑪	本日の、お出かけとお帰りの交通手段をお答えください。(それぞれ2つまで)	お出かけ ⇒ (1 あさびー号 2 自動車 3 タクシー 4 自転車) (5 電車 6 徒歩 7 あさびー号以外のバス 8 その他)	
		お帰り ⇒ (1 あさびー号 2 自動車 3 タクシー 4 自転車) (5 電車 6 徒歩 7 あさびー号以外のバス 8 その他)	
⑫	普段よく利用するバス停区間について3つまでお答えください。	一番よく利用する区間(バス停名:) ~ (バス停名:) 次によく利用する区間(バス停名:) ~ (バス停名:) 三番目によく利用する区間(バス停名:) ~ (バス停名:)	

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

4. 5. を選択されたかたは具体的に何が悪いのかご記入ください。

a	ルートについて	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
b	運行時間帯について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
c	運行ダイヤの間隔について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
d	車の乗り心地などについて	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
e	停留所の位置について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
f	停留所の間隔について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
g	運転手の対応について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
h	全体としてどう思われますか	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)

Q.最後に、あさびー号の運行経費のことについてお聞きします。

(現在あさびー号の運行経費として、年間約5,200万円必要です。)

⑬	税金を使うことに 対し、どう思 われますか	1 もっと税金を使うべき 2 どちらかといえば税金を使うべき 3 今ぐらいが良い 4 どちらかといえば使う税金を減らすべき 5 もっと使う税金を減らすべき 6 税金を使うべきでない
⑭	現在、1回100円の料金を頂いておりますが、このバスがもっと便利になるとしたら、1回いくらまでなら払っても良いと思われますか? (※このバスの「価値」をはかるための質問です。料金改正の参考にするものではありませんので、ご自由な「感覚」でお答え下さい。)	1回()円 までなら払っても良い

その他感想、意見などをご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

※ このアンケート用紙はご記入後、12月22日(木)までに車内の回収箱にご投函いただくか、市役所都市計画課へご持参ください。

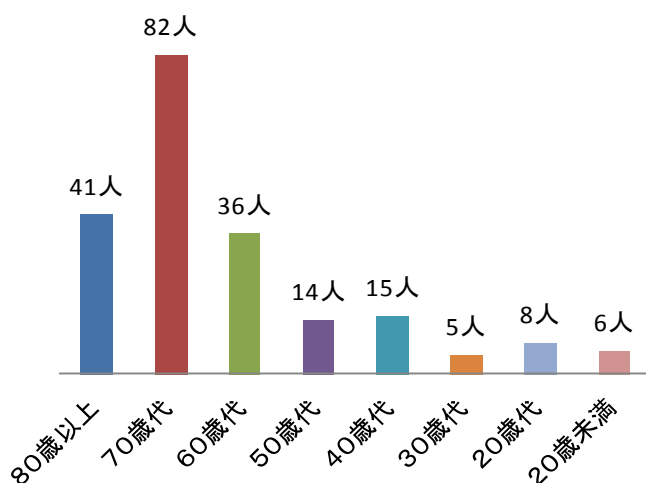
※ 回答いただいた結果は、今後の運行改善の参考とする以外には使用しません。

平成23年度利用者アンケート調査集計結果（平成23年12月8日実施）

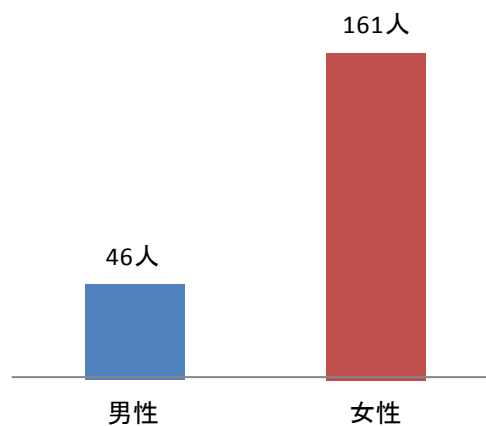
(1) 平成23年度利用者アンケートの結果

1 集計結果

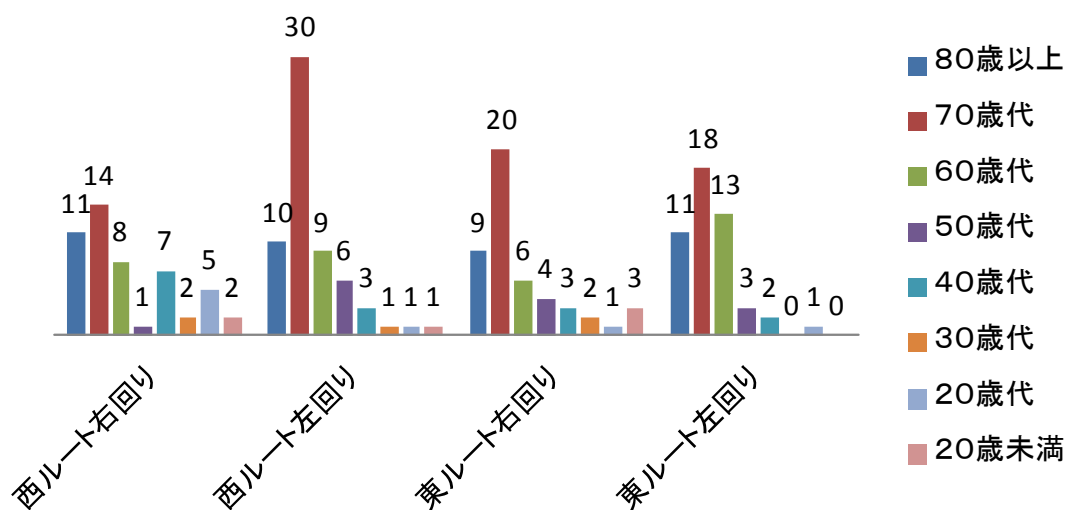
年齢



性別

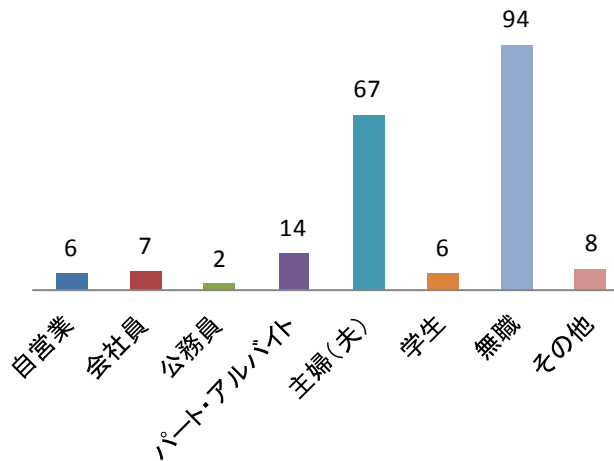


ルート別 年齢

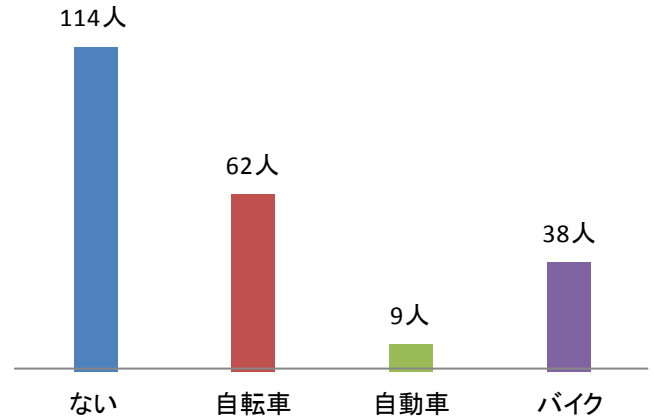


- ・年齢について、60歳代以上のかたが7割以上であった。
- ・性別について、女性の利用者が8割近くとなっている。
- ・ルート別の年齢では、西ルート左回りでは70歳代の利用者が30人となっているほか、別ルートでも70歳代の利用が最も多くなっている。
また、西ルート右回りでは20歳代の利用が多くみられた。

職業

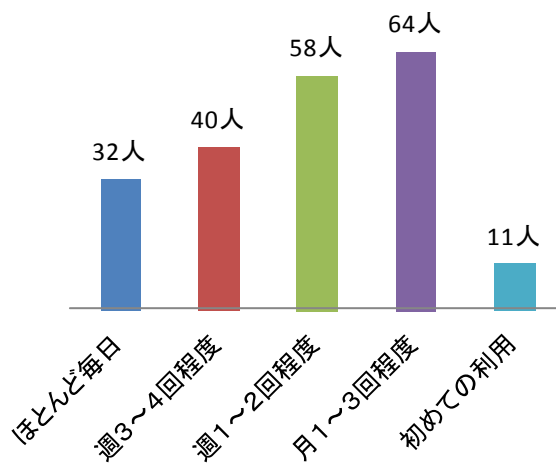


自ら運転して使える交通手段

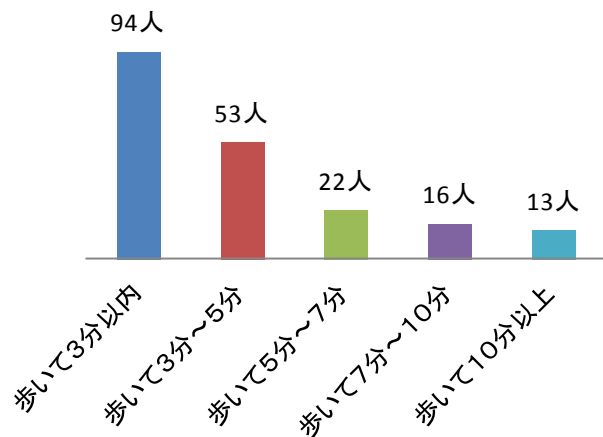


- ・職業について、主婦（夫）または無職と答えた人の割合が合わせて8割近くになっている。
- ・自ら運転して使える交通手段について、ないと答えた人が半数以上となっている。

利用頻度

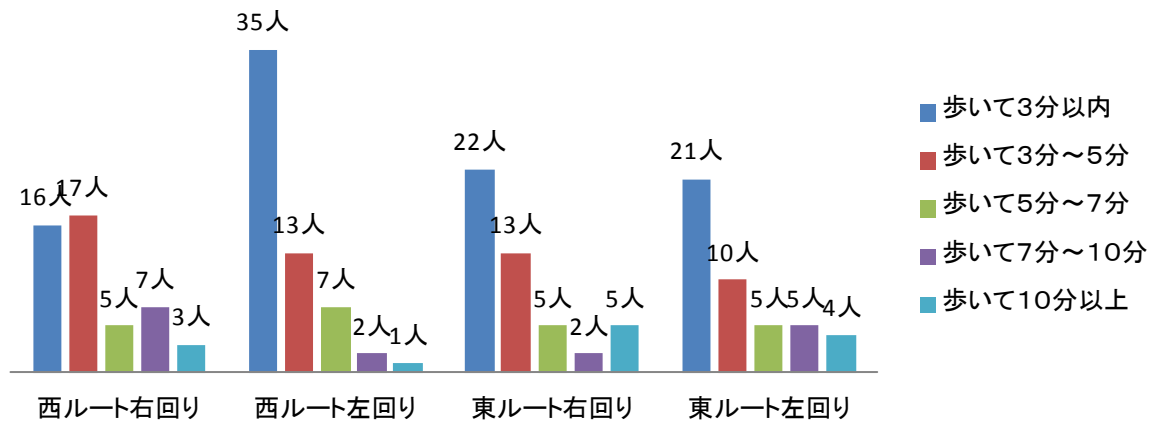


自宅から停留所までの時間



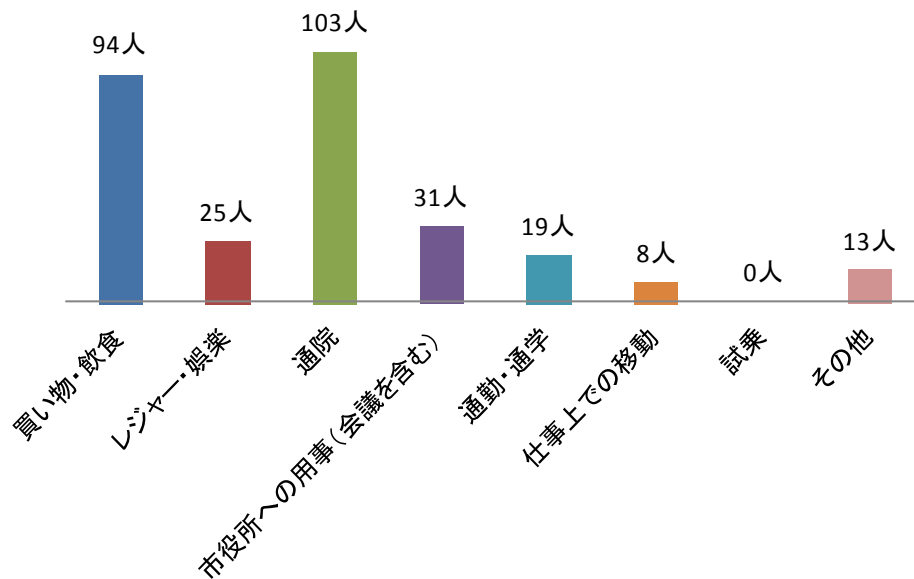
- ・利用頻度について、初めての利用と答えたかたはわずか5%となっている。
- ・自宅から停留所までの時間について、歩いて3分以内と答えたかたが47%と最も多く、歩いて5分以内を合わせると74%となっている。

ルート別自宅から停留所までの時間



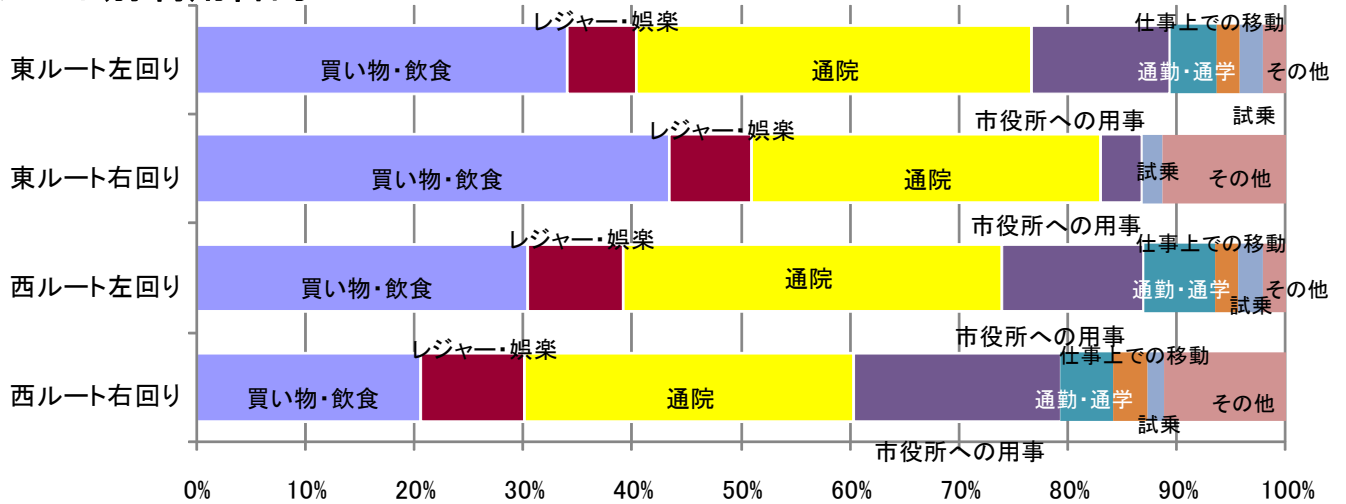
・ルート別の自宅から停留所までの時間について、西ルートと東ルートでは目立った違いはみられない。

利用目的



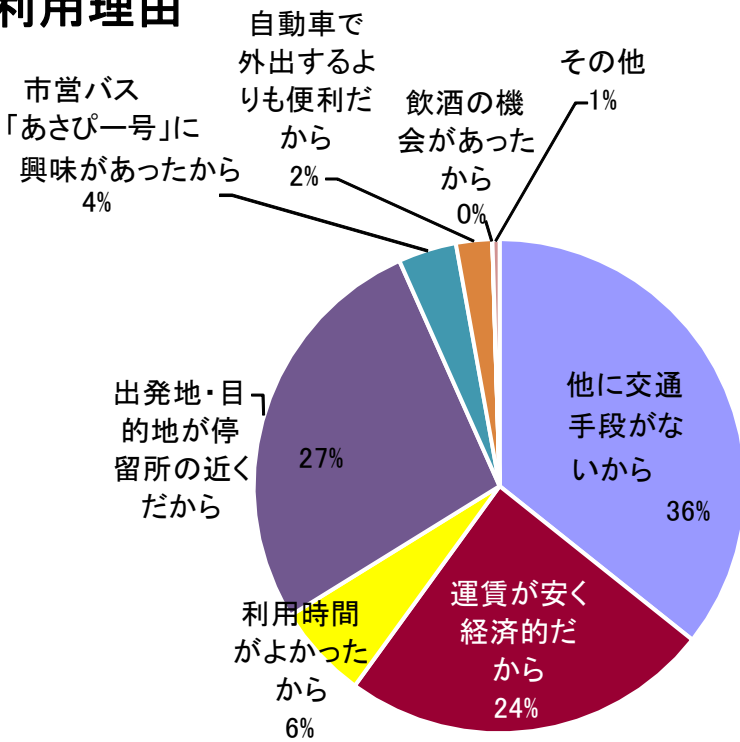
- ・利用目的について、通院と答えたかたと買い物・飲食と答えたかたを合わせると67%となっている。
- ・一方で、仕事上での移動や通勤・通学と答えたかたも存在している。

ルート別利用目的



- ・ルート別の利用目的では、高齢者の利用が最も多かった東ルート右回りにおいて、買い物・飲食、通院の割合が最も高く、通勤・通学、仕事上での移動などのための利用はみられない。
- ・西ルートでは、買い物・飲食のための利用が東ルートと比較して少なく、市役所への用事のための利用が多い。
- ・両ルートとも、通院への利用者が多くを占めている。

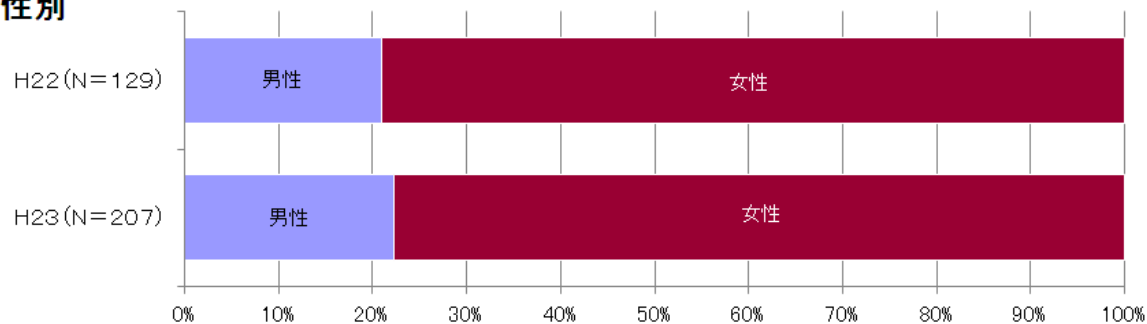
利用理由



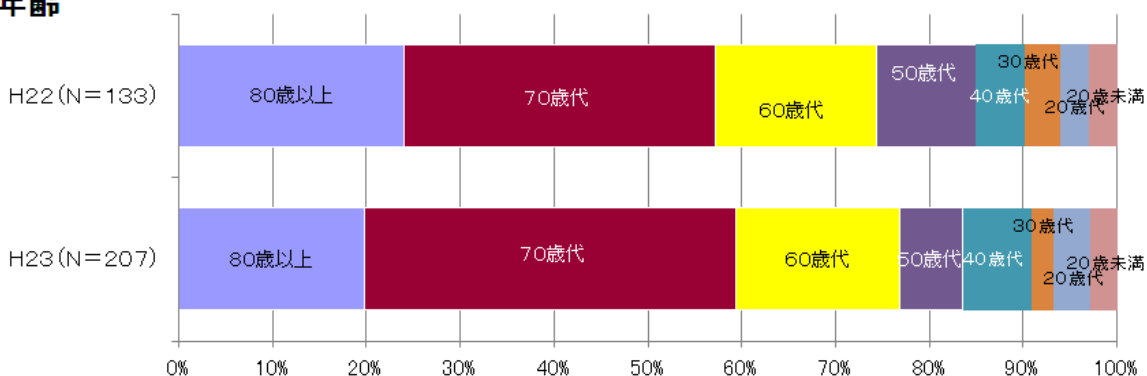
- ・他に交通手段がないから、と答えたかたの割合が36%と最も多く、続いて、出発地・目的地が停留所の近くだから、運賃が安く経済的だから、の順番に続いている。

参考 平成22年度実施利用者アンケート集計結果との比較（抜粋）

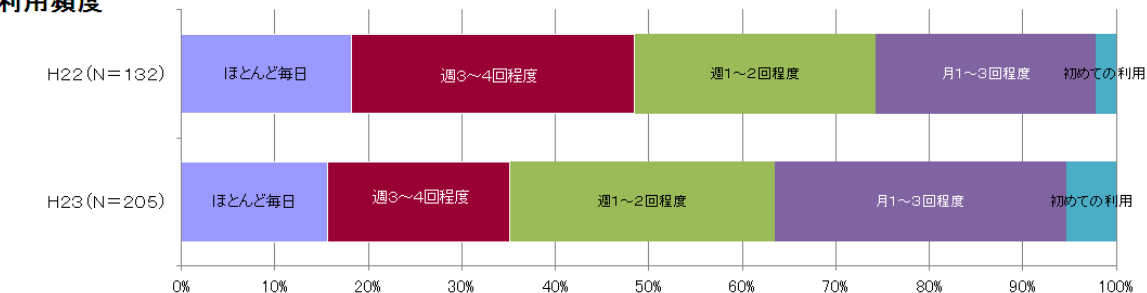
性別



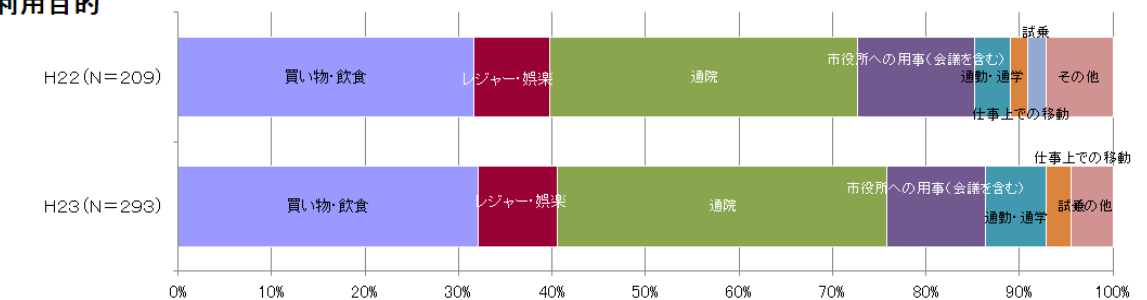
年齢



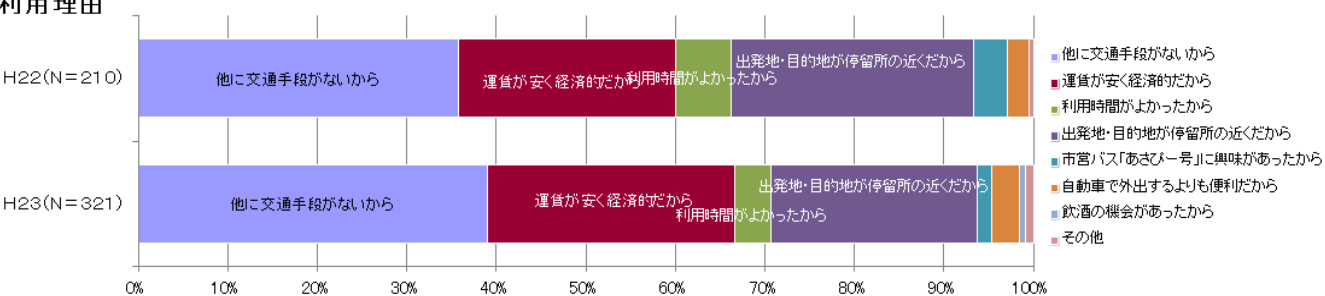
利用頻度



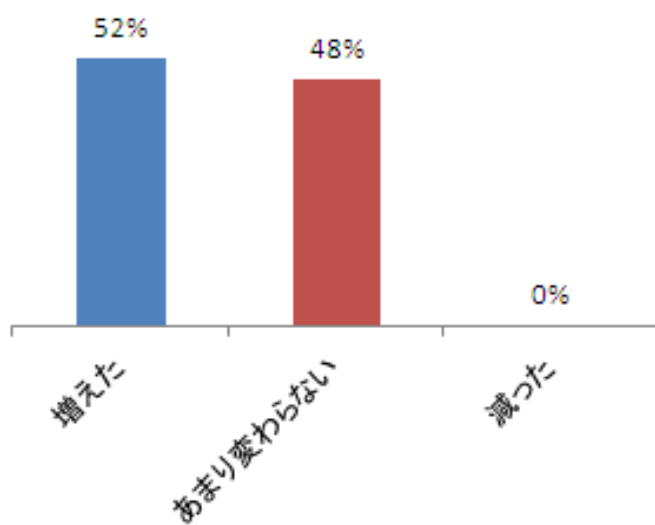
利用目的



利用理由

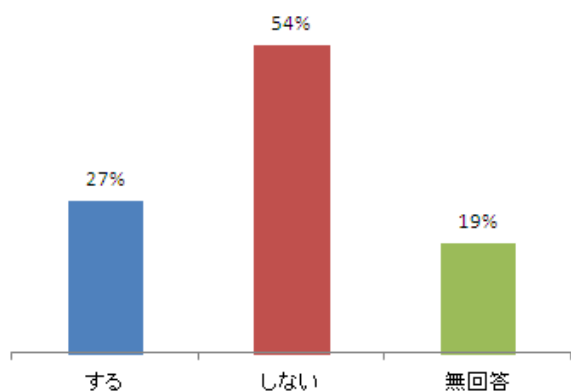


外出回数

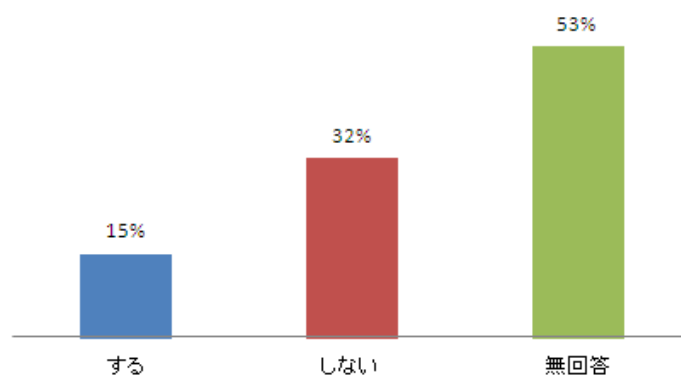


- ・あさび一号の運行によって、利用者の52%は外出機会が増えたと答えている。
- ・昨年度までの調査でみられた外出機会が減ったと答えた人はみられない。

あさび一号間での乗り継ぎ

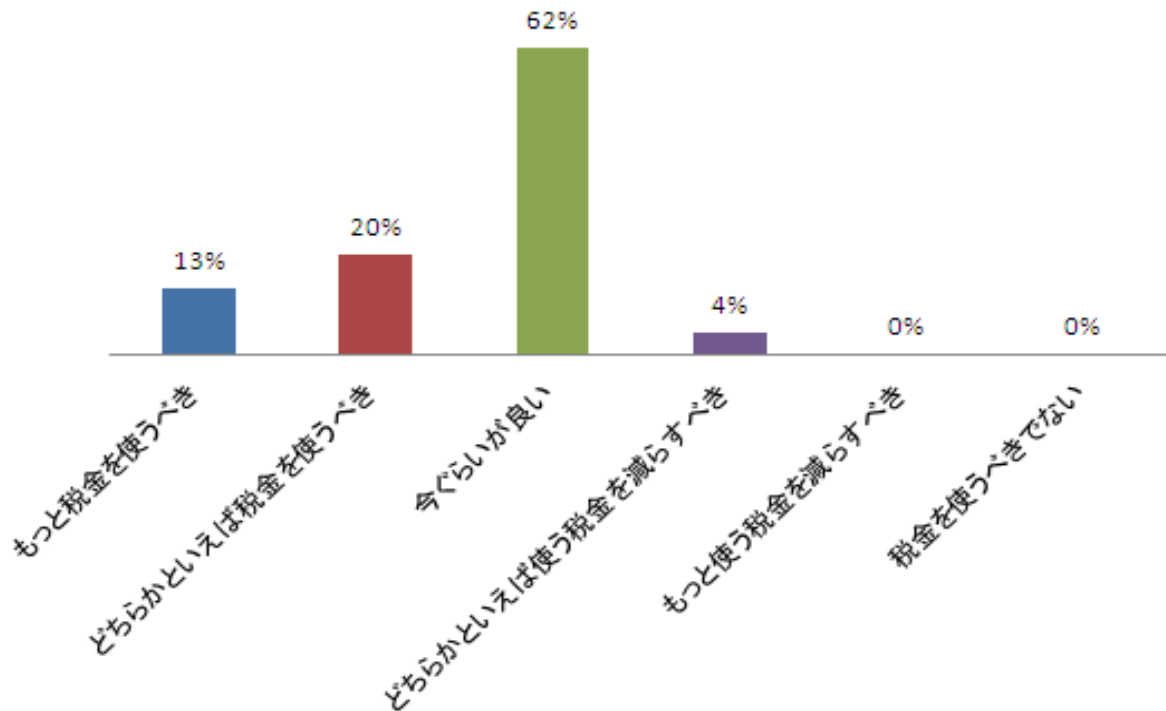


他の公共交通機関への乗り継ぎ



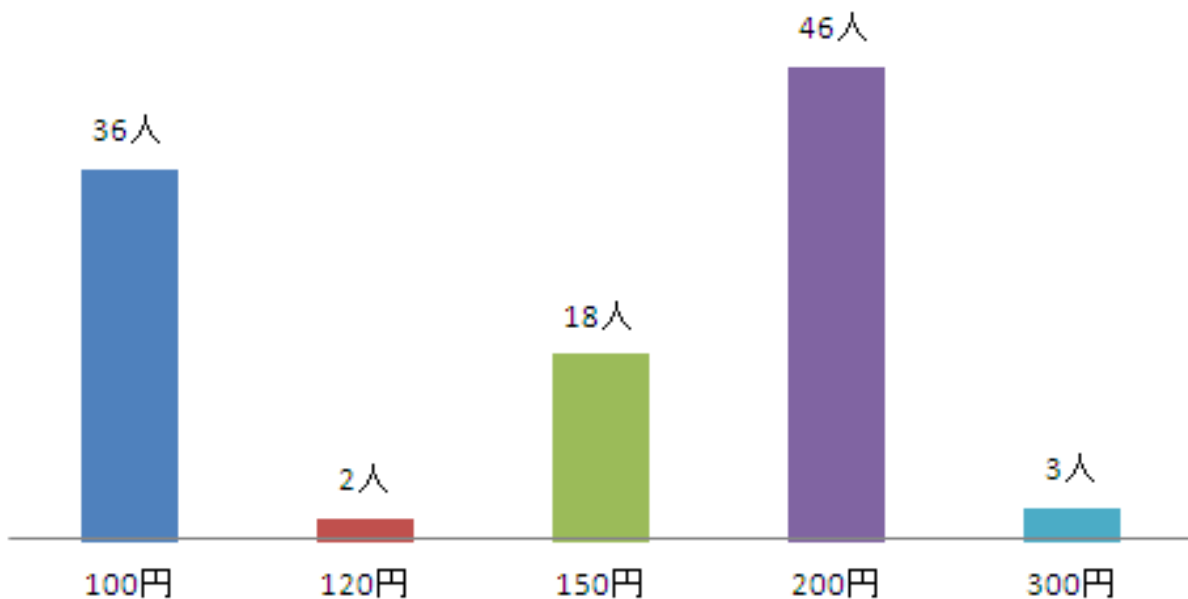
- ・あさび一号の別のルートへの乗継については27%の人がする、と答えている。
- ・他の公共交通機関（電車・バス）への乗継については、15%の人がする、と答えている。

税金投入理解



- ・もっと税金を使うべき、どちらかといえば税金を使うべき、と答えた人を合わせると33%となっている。
- ・どちらかといえば使う税金を減らすべきと答えた人も存在する。

サービス水準向上に対する支払意志



- ・200円と答えた人が最も多い。
- ・100円未満の金額を答えた人はいない。

子-々の回数 / 最終目的地との往復手段(帰り)

最終目的地との往復手段(帰り)

行き	帰り	あさびー号	自動車	タクシー	自転車	電車	徒歩	あさびー号 以外のバス	その他	あさびー号 タクシー	あさびー号 自転車	あさびー号 電車	あさびー号 その他	あさびー号 徒歩	あさびー号 以外のバス	電車 徒歩	総計
西ルート	あさびー号	46	4	3	2	2	8	1		1		2	1	2			72
	自動車	2															2
	タクシー	1															1
	徒歩	2															2
	あさびー号以外のバス	1															1
	その他	1															1
	あさびー号										1						1
	自動車																1
	あさびー号										1						1
	電車						1										2
	あさびー号														3		3
	徒歩										1						1
	その他																1
	電車																1
	あさびー号以外のバス														1		1
西ルート	西ルート	53	4	3	2	3	8	1	0	2	2	3	1	6	0	0	88
あさびー号	あさびー号	40	1	7	0	1	1	1	4			1		1			57
自動車	自動車	2															2
タクシー	タクシー	1															1
徒歩	徒歩	6															6
あさびー号以外のバス	あさびー号以外のバス	1															1
あさびー号	あさびー号	2								1							3
タクシー	タクシー																
あさびー号	あさびー号				1												2
自転車	自転車																
あさびー号	あさびー号										1						2
電車	電車															1	2
あさびー号	あさびー号													1			3
徒歩	徒歩			1													2
あさびー号以外のバス	あさびー号以外のバス														2		2
電車	電車																1
徒歩	徒歩																1
電車	電車																1
あさびー号以外のバス	あさびー号以外のバス	1															1
東ルート	東ルート	53	1	8	1	1	1	1	4	1	1	3	0	2	2	1	81
総計	総計	106	5	11	3	4	9	2	4	3	3	6	1	8	2	1	169

(北) 西ルート

- ・行き、帰りともにあさび一号のみを利用すると答えた人が最も多い。
- ・回答のうちの半数は、あさび一号と他の交通手段を組み合わせ利用しているとなっているが、目立って利用数の多いの交通手段の組み合わせはない。
- ・行きにあさび一号、帰りに徒歩、または行きに徒歩で、帰りにあさび一号を利用すると答えた人が比較的多く、買い物などに歩いて行き、荷物のある帰りはあさび一号を利用するなど、徒歩とバスを使い分けている人もいる。

2 まとめ

○ 利用者の特徴

各ルート全般に、60歳以上の高齢の女性の利用が多い。60歳以上の女性は、自ら運転できる交通手段がある可能性が低いため、あさび一号を利用されるかたの割合が高くなっていると考えられる。また、交通手段を持っていないことのほかに、運賃の安さや出発地・目的地が停留所に近いことを利用理由として多くのかたが答えており、その利用目的は通院、買い物・飲食が多いことから、高齢者の日常生活における「足」としての利用がされているといえる。